大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

昭和十一年八月二十六日　（水曜日）　新京日日新聞　第四千八百七十八號　（一）

新京日日新聞

夕刊　八月二十五日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
郵稅　一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通　一行壹圓五拾錢　特別　一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三三一五　營業局專用(3)三三〇〇

發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

"日本の南進政策は世界の福祉に貢獻"

拓務省內に積極的南進論起る

【東京國通】我が南方の生命線を中心とする經濟的發展策所謂南進策に對して蘭印諸國は我國に領土的野心あるかの如く誤解し飛行機其他の武器をアメリカに註文し蘭印各方面の武裝に着手するに至つたと傳へられるが、之に就て拓務省內部に於て從來の如く南進政策の遂行に當つては諸外國の感情を刺戟する事を努めて避くべしとするのとは異つた左の如き極めて積極的意見が擡頭して來た事は將來の我南進政策遂行の根本方針の積極化を暗示するものとして頗る注目に値する、即ち

我南方發展は日本國家の宿命とも稱すべく從來は發展策の遂行に當つて努めて穩やかにオランダ、イギリス等諸外國の感情を刺戟せざるやう極力注意したのであるが、然も殊更に我眞意を曲解し蘭印の武裝に着手するのは甚だ諒解に苦しむ所である、こと玆に及んでは徒らに因循姑息な穩便主義に依るよりは寧ろ積極的に

我南方發展は經濟的資源の開發により人類の福祉增進に貢獻せんとする外何等の目的なき事を中外に闡明し更に本國に數倍する領土を有し、しかも之を放置して經濟的利用の方法を講ぜずしかも之を經濟的に開發せんとする他の手を拒み世界人類の福祉增進を妨害するは世界人類のため取らざる所である事を强調し關係諸國の蒙を啓き今後は積極的に邁進すべきである

と言ふにある

國の動亂によつて郵船及びPO汽船等も十九日出帆のアトラス丸より積荷引受を中止して居る有樣である

革命軍軍用機 ナラガを爆擊

【ジブラルタル二十三日發國通】革命軍々用機は廿三日ナラガを空襲、同地の石油貯藏所を爆擊、政府軍に大打擊を與へた、一方ナラガの赤色義勇軍は北部アンテクエラに進擊奪還を試みたが革命軍有力部隊の反擊に遭ひ死傷者四百名を殘して退却した

政府軍に加擔の佛人五名銃殺

―スペイン政府軍發表―

【パンプロ廿四日發國通】政府軍將校の發表によると二十四日サン・セバスチアンの東南七哩のオヤルスウンに於て叛軍は政府軍に加擔せるフランス人五名を捕へ直ちに銃殺に處したと言はれる

ドイツ政府 對西武器輸出を禁止

【ベルリン廿四日發國通】ドイツ政府はフランス政府の提唱にかゝるスペイン內亂不干涉協定に對し關係各國がこれを受諾する事を條件に原則的受諾を爲したが既にイタリーを最後として關係各國全部がこれを受諾したので二十四日フランス政府に對しドイツ政府は直ちに右協定を實施しスペインに對する武器輸出を禁止する旨通告した、但しドイツ政府はその通告に當り去る八月十日セビリア北方六十哩の地點に於てスペイン政府軍の爲めに鹵獲されたユンケル軍用機一臺の返還要求は依然堅持する旨附言し且つ關係各國が協定の有效なる實施を保障する手段を講ずることが必要であると强調した

小泉慶大總長渡米　ハーバード大學三百年祭列席の爲め慶大總長小泉博士は二十一日午後零時半東京驛發橫濱出帆の龍田丸で渡米の途に上つた（寫眞は東京驛にて）

頻發する反日行爲

支那側の猛省を促す

須磨總領事嚴重抗議提出

處置如何は重大視

【南京廿四日發國通】川越大使の歸滬と共に愈々日支國交調整交涉が開かれんとする際岩井總領事代理の入川阻止及上海歌舞伎座襲擊未遂事件等支那側の反日行爲 頻發 に出先當局は事態を極めて重大視し、須磨總領事は廿四日午前十一時外交部に陳介次長を訪問

一、成都總領事館は既に十八年前に開設されたもので商埠地に非ざるの故を以て入川を阻止するは明白な排日行爲なり、今にして眞に日支國交調整を希望するならば此際進んで成都を商埠地とし、我が公館の再開に協力すべきである

二、目下南京には朝鮮民族革命黨が組織され、多數の黨員が國民政府の庇護を受け抗日テロ行爲に出でつゝあり、歌舞伎座事件は此の一端に他ならず、國民政府は速かに右一味を逮捕し當館に引渡されたし、若し二重國籍の故を以て右要望に應ぜざるに於ては敦睦令に反する支那側直接の抗日行爲と認め當方に於て斷乎たる處置を講ぜねばならぬ

と嚴重抗議すると共に支那側の猛省を促したこれに對し陳次長は我要望を諒承し、國民政府に於ても一應調査の上張群部長の歸京を待ち何分の處置を講ずる旨を回答した、張群氏は月末歸京の 筈で 國民政府の處置如何は來るべき日支交涉前の試金石として重大視されてゐる

川越大使南下

廿五日韓復渠氏と會見

【天津廿四日發國通】去る十七日入津以來北支總領事會議を始め日支各要路と重要協議を行ひ殊に北支に於ける日支經濟提携の具體策につき愼重打合せを遂げた川越大使は約一週間に亘る觀察を終へ愈よ廿四日午後八時四十分天津發津浦線で南下歸路につくことになつた、大使は濟南に立寄り廿五日韓復渠氏と會見、廿七日青島出帆海路上海に向ふ筈であるが最近南京政府の山東中央化工作に伴ふ韓氏の動向は頗る注目されてゐる折川越大使の同氏訪問は北支の今後の情勢に何等かの影響を齎すであらうと注目されてゐる

スペイン向け貨物代金 依然決定せず

【神戸國通】スペイン向け貨物の代金決定遲延に就ては先般來神戸貿易同業組合から外務省を通じて之が解決の促進方を陳情する所あり具體的手續に入らんとして居た所その後革命騷ぎが擴大の爲め未解決のまゝ葬り去られんとする狀態に至つて居る、而して同

上海佛租界で爆彈炸裂死傷

二人とも朝鮮人

【上海廿四日發國通】當總地領事館發表＝去る十四日佛租界環龍路泰興坊一三號にて爆彈炸裂し即死一名、重傷一名を出したので佛租界工部局は直ちに 現場 に赴き臨檢を行ひ調査を開始したが右犯人は朝鮮人であること判明し十七日總領事館警察部に通報して來た、警察部では十八日青柳第二課長始め朝鮮人係り急行し佛租界工部當局立會の上現場を臨檢し更に辣斐德路廣慈醫院入院中の重傷者を取調べた結果重傷者は朝鮮慶尙南道蔚山郡江東面金順根（二五）即死者本籍不詳金丙華（二三）と判明したる死體は廿一日受取り日本人墓地に於て火葬に附し重傷者は廿二日引取り某醫院に入院せしめ監視附にて治療中である重傷者を取調べたるところによれば總領事館及び邦人多數集中個所（歌舞伎座のこと）の爆破計畫の下に爆彈製造を爲しつつあつたもので現に二個を完全に製造し終り三個目を製造中 炸裂 したるため重傷死者を出すに至つたものである、尙ほ總領事館當局に於ては時節柄本事件を重視し引續き嚴重取調べを行ひつゝあるが此種不穩計畫の徹底的掃蕩を期してゐる

怪鮮人二名は

中央軍官學校出身

【上海廿五日發國通】既報、我が總領事館及び歌舞伎座に爆彈を投擲せんとした朝鮮獨立黨員二名は 意外 にも南京中央軍官學校出身であることが判明した、即ち彼等一味は藍衣社O・O團華かなりし頃數十名の鮮人と共に中央軍官學校に入學し、軍事訓練を受けたもので、更に彼等は藍衣社特別班と同樣に暗殺計畫から實行までの特別訓練を受けたものである、朝鮮獨立黨は昨年朝鮮人會副會長李儒善暗殺事件以後當局の徹底的取締りによつて殆ど根こそぎにされたが、未だ中央軍官學校出身の黨員一部は南京或は上海佛租界に潛入機會を狙つて居た處が中山兵曹の嫌疑事件以來漸く排日運動濃厚となり續いて先日は宣生事件發生するに至つたが彼等一味は此の機會に乘じて邦人の心臟部總領事館及び歌舞伎座を襲はんとしたもので家宅搜査の結果發見された總領事館見取圖の如きは實に精巧を極めたもので總領事室、大使室等を詳細に描き侵入の道順まで記されてゐた、日支國交の正に 調整 されんとする時且又ソ聯が上海にコミンテルン極東根據地を設置し積極的工作に乘出さんとしてゐる際であり當局では獨立黨の絕滅を期して目下對策を練りつゝある

電氣局長等陸軍省訪問

民有國營案を說明

【東京國通】遞信省の電力國營案は電力統制案としてその主旨は國策項目中に盛られたものゝ、具體案作成に當つては遞信省原案たる民有國營案が必ずしも實現するや否や疑問視されて居るので、遞信省首腦部ではあくまで原案の貫徹を期して關係各方面へ躍起の諒解運動を試みる事となり二十四日大和田電氣局長以下關係課長は內閣調査官を加へて午後二時半より陸軍省を訪問、電力國營案を最も有力に支持して居る陸軍側との懇談會を開き、陸軍側より磯谷軍務局長、町尻軍事課長、石本軍務課長、秦新聞班長以下軍務並に經理局課員等出席、遞信省側より民有國營案の詳細なる內容及これに對する各方面の反對論の根據及その誤謬等を說明、國防產業上の見地からも國營の重要性を縷々力說種々意見の交換を遂げ、午後六時散會したが、廿五日は鐵道省關係官に對し說明を行ふ筈

商工省で貿易練習生養成

【東京國通】商工省では益々激烈化する國際通商戰に備へ將來その第一線に立つて活躍する人物を養成することになり先づ明年度から貿易練習生育成に乘出す事に決定獎勵費として五十萬圓を明年度豫算に計上要求した、即ち全國各地の貿易業者、貿易業志望者の中より數十名を選定して當局の指定する海外市場に派遣し約三ヶ年官費にて當該市場で貿易事業を營ましめる傍らその地の貿易事情に通曉せしめ眞の意味の貿易エキスパートを養成して將來我が商品の海外進出に對する指導者としやうといふ計畫である、此貿易練習生制度は農商務省時代大正十五年頃まで行はれ多大の效果を收めたもので其後財政上の理由で廢止されたのであるが貿易非常時の擡頭と共に復活したものである

人事往來

▲河本滿鐵理事　二十五日午前八時五十分大連より
▲植田關東軍司令官　同午後五時三十分歸京豫定
▲脇本博司氏（パラマウント會社）二十五日午前奉天へ
▲玉田晋氏（朝鮮杭木）同安東へ
▲上田武次氏（日本炭鑛）同內地へ
▲溪健二氏（東亞土木）同牡丹江へ
▲西脇寛氏（小野田セメント）同鞍山へ
▲濱口熊嶽氏（大呪師）同內地へ
▲佐々木金松氏（國際企業）同來京國都ホテル
▲吉村洵氏（大陸化學院）同
▲安藤武氏（出版業）同
▲新井春季氏（農安金融合作社）二十四日午後農安へ
▲米山辰夫氏（日本製鐵）同市內へ
▲樋口忠七氏（商業）同公主嶺へ
▲前川幸一郎氏（會社員）同
▲秋山和夫氏（滿鐵）同國都ホテル
▲錦織足喜代氏（東亞勸業重役）同
▲綱本正三郎氏（同）同
▲向坊盛一郎氏（同社長）同
▲淸川雅衛氏（會社員）同
▲榎並直氏（西安煤鑛）同
▲田中秀一氏（航政局員）同
▲國吉喜一氏（小野田セメント）同
▲中村淸氏（會社員）同大和旅館
▲川村博氏（龍井總領事）同ヤマトホテル
▲田邊敏行氏（大タク社長）同
▲丹羽周夫氏（三菱社員）同
▲永野賀成氏（滿鐵）同
▲松井小三郎氏（三菱社員）同
▲大野幹平氏（會社員）同
▲矢中快輔氏（滿洲棉花）同
▲藤田八郎氏（判事）同
▲伊藤贊氏（會社員）同
▲沼田信男氏（官吏）同
▲太田利三郎氏（會社重役）同
▲大谷竹次郎氏（會社員）同
▲河田由藏氏（滿洲國官吏）同
▲相川勝六氏（官吏）同
▲佐孝梅雄氏（滿洲國官吏）同
▲大石良久氏（官吏）同新都旅館
▲岩間季四郎氏（會社員）同
▲稻垣正夫氏（商業）同松屋旅館
▲東淸一氏（商業）同旭ホテル
▲矢野元氏（同）同
▲市橋益雄氏（同）同
▲前田啓一氏（會社員）同
▲平田重兵衛氏（會社員）同向陽ホテル
▲原田辰雄氏（國際運輸）同
▲高嶋信太郎氏（教員）同
▲成澤直亮氏（官吏）同
▲古山勝夫氏（滿鐵）同新京ホテル
▲高州東五郎氏（同）同
▲川谷武男氏（日本電氣）同富士屋旅館
▲西州源四郎氏（材木商）同
▲岸次郎氏（滿洲國官吏）同
▲中野眞一氏（會社員）同
▲高橋善貞氏（同）同
▲大曲唯一氏（建築業）同大和新館
▲河原通三氏（會社員）同
▲吉田俊雄氏（大林組）同
▲紐式可夫氏（チチハル市政局會計科長）同　都ホテル
▲山口政吉氏（滿鐵）同國際ホテル
▲佐藤拓四郎氏（滿洲國官吏）同
▲闞隆二氏（奉天地方法院）同
▲平田又次氏（滿洲國官吏）同喜久屋旅館
▲廣石郁麿氏（ハルビン警務股長）同滿蒙旅館
▲中脇豐氏（會社員）同
▲梅本七次郎氏（滿洲國官吏）同
▲溝田佐次郎氏（稅關吏）同梅屋旅館
▲柳町精氏（會社員）同
▲古田末二氏（滿洲國官吏）同
▲金守武雄氏（滿鐵）同
▲今栄民親氏（國際運輸）同大平旅館
▲上田太郎氏（電々會社）同
▲宇喜多信秀氏（滿洲國官吏）同國華ホテル
▲木村萬彌氏（會社員）同
▲栢原淸喜氏（滿洲國官吏）同愛國ホテル
▲森川由惠氏（高校教授）同
▲森一堂氏（書家）同
▲渡邊昌治郎氏（會社員）同
▲井上伊七郎氏（請負業）同
▲安井利八氏（滿鐵）同協和旅館
▲石原俊輔氏（同）同
▲柴谷保隆氏（金融合作社）同京都旅館
▲鹽澤警備課長　同大連へ

團體

▲東京聯合少年團皇軍慰問團三十一名　二十五日午後三時四十分ハルビンより
▲東京市派遣小學校長團十五名　同四時ハルビンへ
▲福井縣商業學校生六十名　同三十七分吉林より
▲岐阜師範同窓會生四名　同七時四十分來京
▲三重縣教育會團二十二名　同十一時ハルビンへ

その日〳〵

□
外國に氣兼ねせず日本の南進政策を進めよの聲拓務省內に起る

□
山田長政の昔既に南洋一たいは我が勢力範圍にあつたもの、昔に還るまで

□
上海で爆彈破裂騷ぎ、中央軍官學校出の朝鮮人とあれば想像はつかぬ筈はない

□
いつもいふ佛の顏も二度三度、こゝ最近の反日行爲何とか解決せずばなるまい

□
新京守備隊及び警備隊へ慰問袋贈與を協議、慰問袋と新京人は近頃距離があつたやう

乳房ある悲み（百四十二）

中西伊之助 作　（禁上演上映）
武久 画

亡靈（四）

『女が經濟的に獨立するなんて、そんなに簡單に考へちやだめだよ』

喬は妹の言葉をたしなめるやうにいつた。

『でも……』

玉汝は固唾をのんで、

『できないことはないと思ふわ……』

『それはできなくはないだらう、たあちやんでも萬里さんでも、どうにか教育を受けてゐるんだからね、だが、ただ教育があるから獨立ができると思つたら大間違ひさ……』

喬ではあつたが、今日は大眞面目であつた。

『でも、私はどうしてもやつて見せるわ、私、榊原さんなんかとはどうしても結婚する氣にはなれないから……萬里さんだつてさうでせう？』

玉汝は萬里子を振り返つた

『…………』

萬里子は默つて俯向いてゐた、それは齊がこの二人の兒であつたからだ。

『萬里さん、君はどうだい、君はその決心はあるのかい？

……』

喬はきいた。

萬里子はこの場合どうしていゝのか全くわからなくなつて來た。彼女はもちろん齊と結婚する氣は露ほどもない。だが、現在では殆ど監禁同樣の身で、淺吉に手紙さへ出すことができない、どんなことをしても彼に會つて相談したいと思つてはゐるが、しかしこの二人の兄妹にそれを相談することもできなかつた。

喬にさうきかれてみると、自分も玉汝と一緒に家を出て獨立の人となるより外に道はないと思つた。が彼女は玉汝ほどの教育もなく、自分が家をとび出しても十分に獨立して行けるかどうか不安でたまらなかつた。

『私、決心はしてゐますわ……』

それでも、彼女は答へた。

『どうも心細いな』

喬は、力のない彼女の言葉に失望してゐるやうであつたそしてまたきいた。

『君はそれでは齊と結婚してもいいと思つてゐるのかい？

……』

『いいえ』

萬里子は强く頭を振つた。

『そんなこときかなくたつて分つてゐるぢやないの』

と玉汝が喬の顏を見守りながらいつた。その言葉の中には、何か深い意味がこもつてゐるやうでもあつた。二人の眼には何かがひそかに囁いてゐた。

『萬里子さん』

喬が彼女の姿を見入つていつた。そして言葉をつづけた

『塙のいふことだから當にはならないがね、君にはたれかからしきりに女名前で手紙が來たつて話だが、ほんと？』

『…………』

萬里子は眞ッ赤になつて俯向いてしまつた。

『何も恥かしくはないさ、玉汝だつて自分には他に思つてゐる人があるから、榊原と結婚するのはいやだと僕にいつてゐるんだからね、君も打明けたらいゝよ』

『さうよ、萬里さん、そんなこと遠慮することはないわ、私、そのことで齊兄さんやお母さんとも衝突してゐるのよ、あなただつていやだと思つたらズンズンさういつた方がいゝわ、何も屈服して結婚する理由はないのよ……』

玉汝もさういつた。

新京守備隊へ慰問袋を贈れ

あす各關係者會合協議

新京滿鐵地方事務所では目下出動中の新京守備隊並に駐屯警備隊慰問のため慰問袋を贈呈することゝなりこれが募集其他に關し二十六日午後二時から綜合事務所二階會議室に於て總領事、各區長、新聞社等を招き協議會を開催する

第五回滿洲國體育大會 陸上競技豫選

來月五日西公園で

第五回滿洲國體育大會に備へる陸上競技新京豫選會は來る九月五日午後一時から西公園競技場で開催される、種目は

男子之部、トラック（百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、五千米、一萬米、百十米高障碍、四百米中障碍）フイルド（走高跳、走巾跳、三段跳、棒高跳、砲丸投、圓盤投、鐵槌投、槍投）

女子之部、トラック（六十米百米、八十米障碍）フイルド（走高跳、走巾跳、砲丸投、圓盤投、槍投）

以上であるが申込は一人三種目以內、九月三日までに文教部內體育聯盟陸上競技協會宛氏名、年齡、出場種目、住所又は勤務先を明記して申込む事、なほ新京代表選手は本豫選終了後詮衡委員會にて決定すると

新立屯の火事

二十四日午後八時二十分ごろ新京特別市新立屯二條胡同三十六號萬年筆行商人李得誅（二六）方から發火し全燒二戶、半燒二戶を出し同五十分鎭火した人畜には被害なかつた、なほ原因は目下調査中である

アパートの窃盜捕はる

原籍熊本縣葦北郡田ノ浦町元新京梅ケ枝町一丁目一條アパート無職田畑博康（二六）はさる八日范家屯驛構內に積んでゐた荒井組のバラス一坪半時價三十圓、鐵筋二トン半時價三百十二圓五十錢の窃盜被疑者として新京署で搜査中二十四日午後八時ごろ一條アパートへ立戾つたところを中谷刑事が逮捕したが前記犯行の外一條アパート各部屋から洋服、オーバ時計その他貴金屬十數件窃取した旨自白した

電氣普及促進策 懸賞募集

滿洲電氣協會では滿洲に於ける電氣事業の伸展と徹底的普及を圖るため滿洲の特殊事情に基き電力資源及料金の研究等から工業、農業、鑛業、交通機關、家庭等の電化等凡ゆる角度から見た論文「滿洲に於ける電氣普及促進策」を懸賞募集する事となつた、條件は滿洲に於ける電氣普及促進方策に關するもので紙數は二十字詰、二十行原稿紙五十枚以內、應募者は協會員に限られてゐる、締切り九月三十日發表十月二十日、賞金は一等百圓、二等五十圓、三等二〇圓、應募先は電氣協會本部及各地支部となつてゐる

東宮假御所

廿四日上棟式擧行

【東京國通】那須御用邸に御避暑中の皇太子殿下には愈よ御健かにわたらせられ明春早々には御父母陛下の御許を離れさせられ目下御造營中の赤坂離宮內東宮假御所に御引移り遊ばされるが同假御所の工事は着々と進んで廿四日午後二時から嚴かな上棟式が擧げられた本年末には完成の筈である

第一回建國野球大會前記（八）

優勝候補の橫綱格 大連實業の陣營

新京クラブ監督　源川榮二

實滿戰に滿倶に破れ都市對抗出場の榮冠に惠まれざりしと言へ大連實業は矢張本大會優勝候補の橫綱格であらう、岩瀨投手は野球生活十八年、老いたりと言へ中々衰へず**依然**として穩當ある投球振りを見せてゐる、十八年と言へば我々の中學時代であり今頃の若い選手連の赤ん坊時代である、當時谷口の前に谷口無く谷口の後に谷口無しとまで謳はれ不世出の大投手と言はれた岩瀨投手は早慶戰未だ復活せず三田稻門戰に鎬をけづり小野谷口對立の日本球界第一期の黃金時代を造り出した以後竹內、湯淺、宮武、小川と第二期、第三期の對立時代ありしとは言へ小野・谷口對立の大正十一、二年が技術的に將又精神的にみても日本最高のレベルでは無かつたらうか、大連實業に入りてより十三年同野球團に盡せる功績たるや偉大なものである、兩雄對立する場合一方が强くなる事は他方反撥せしめる動機をつくるもので此の意味に於て實滿戰が今日の隆盛を來たせし所以も又同氏に負ふ所多いと信ずる滿倶が岩瀨投手の球を知り過ぎる位に知り乍ら猶且つ每年苦しめられるのは岩瀨投手の偉さを裏書きするものである本年度メンバーをみるに實滿戰の**勝敗**を以て滿倶より劣るとは斷じて言へず戰は兵家の常、武運に惠まれざりしためと言ふより外仕方あるまい、岩瀨元老を擧頭に最近捕手、三壘より轉出した中央大學出身の三代澤それに稻田と三人の投手を擧げる事が出來る、稻田は未だ實業の屋台骨は脊負へず、三代澤は岩瀨投手以外に人なきため必要に迫られ實滿戰後外來チームの試合よりプレートに立つたものであるが實業園を或る程度脊負つてたてる器用さを見せ重責を全ふしつゝある、も少し早く實滿戰に彼の起用をみる事が出來たら相當面白かつたに違ひない、內野陣迫畑捕手・一壘多々羅二壘井上三壘稻出、遊擊井筒根岸と既に試驗濟みの連中ばかりであるが、たゞ三遊間に多少の難あり、前年度の遊擊手立大出身の內田の入營は大きな痛手である、外野左翼宮澤、中堅五味川、右翼木原は先づ無難としても**松尾**の一枚缺けてゐる事は攻守共に可成りのハンデイキャップで內田、松尾共に一番、三番を打つてゐた人達であり攻擊の手薄な點よりみて余計痛切に感じられる、攻擊方面は可成りのムラがある、當り出したらウンとあたる、又當らなくなつたらサッパリだと言ひ得る程ムラが多い、それ丈にまた打ち出したら恐ろしい程續く可能性を充分に持つてゐる投手に三代澤の轉出が實業の强味を春以上に增してゐる事は本大會に優勝出來得る可能性を增した事は否めない

（投）岩瀨、三代澤
（捕）迫畑
（一）多々羅
（二）井上
（三）稻田
（直）井筒、根岸
（外）宮澤、五味川、木原

二科の搬入始まる

美術の秋を飾る二科會は九月一日から開會さるゝので二十一日から搬入が開始された、寫眞は美術館に於ける搬入の交付

寫眞屋の二階に追ひつめ 窃盜犯人を捕ふ

けふ眞っ晝間室町の大捕物

昨年九月上海總領事館より手配中の現金三千圓を窃盜せる犯人朝鮮大邱生れ藤井文一こと李相春（二二）が最近市內へ立ち廻つたとの報に新京署谷本、岩田兩刑事が探知し搜査中廿五日午後一時半頃室町小學校附近で發見同行を求めると、靴を直すと稱しかゞんで刑事の油斷を見透しその靴を脫いで谷本刑事にいどみかゝりその隙に逃走を企てたので同刑事は威嚇發砲し、物音に地元民も出て來てこれに加はり犯人を追ひ廻し室町小學校前二葉寫眞館階上に追ひつめ漸く逮捕した、犯人は上海で三千圓の橫領を働きその後台灣、京城、大連、ハルビン吉林　新京　東京、大阪、岡山京都內台鮮滿の各料亭に登樓現金裏門に一萬數千圓の窃盜を働いてゐたもので新京には一月前に來京永樂町一丁目友人某獸醫の許に潛伏してゐたものである

大經路と大馬路は全部二階以上に

市公署から一般市民へ佈告 康德五年度迄完成

新京街の發展に比較して舊城內の面目が依然として一段見劣りの觀あるは保安衛生並に實觀上遺憾の點尠くなく、特別市公署ではこれが改善に專ら意を注いでゐるが、特にそのメインストリートたる大經路、大馬路の市街整備は第一に緊要事であるといふので右兩道路では既存の合法的なる二階以上の建築物を除くのほか新舊の平家並に空地等は康德五年度までに悉く二階建以上の建築物を完成すべきやう一般市民に二十二日附佈告した、佈告の內容は左の通りである

本市は國都建設計畫施行以來日進月步隆盛に赴き國都としての面目を一新しつゝあるは市民の熱誠なる努力に負ふ所大なりとす、然るに本市舊市街地區に於ては未だ保安、衛生並に美觀上遺憾なる既存建築も尠しとせず、從て商業地區に於ては營業者の經濟的損失はもとより本市の發展を阻害するところも亦頗る大なるものあり、由來都市の貧富盛衰は市街整備の如何により定まるものにして建築物の整備は都市發展の一大要素なり、是に於て主要商業街たる大經路、大馬路の改革は本市繁榮策上特に急を要するものなり、本市長は之に鑑み前述の地區內に於ける既存の合法的なる二階以上の建築物を除くの外、新舊の平家並に空地等には康德五年末迄に悉く二階以上の建築物を完成し以て本市の發展に資せんとす本市民は此の趣意を諒とし本署と協力以て誠意目的達成に努力せられたし

岩井教授講演

滿鐵の招聘による心理學の泰斗京都帝大教授岩井勝二郎氏は來る二十九日午後二時より新京敷島高女講室で市內中初等學校職員のため心理學の講義をなすこととなつた

興亞印刷局設宴

奉天工業區に本社を有し新京支店を興安大路五二〇に置く股份有限公司興亞印刷局では東京の大日本印刷の滿洲總代理店をも兼ねてゐるが商業美術ポスター展を新京で催した機會に關係各方面を二十四日午後六時半より軍人會館に招待設宴した

寄附

民政部坂田義政警佐は尊父死亡に際し同僚諸氏よりおくられた香奠全部を地方警察官慰問金として寄附した

▲元滿鐵醫院婦人科醫長故今出中博士の忌明けに際し金二百圓を新京福祉委員助成會の基金として廿五日同遺族から地方事務所社會係へ寄附した

あす（廿六日）

▲東京少年園午前中各官公署訪問、午後衛戍病院、警備司令部へ、午後六時市公署主催招宴（中央飯店）
▲通俗ラヂオ講習會第一日、午後一時―三時、放送局
▲ライカ作品展第一日、午前十時―午後五時、公會堂
▲特別市自治委員會、午後一時、市公署會議室
▲全滿都邑計畫打合せ會第三日、軍人會館

今晩の主なる演藝放送

▲六・三〇講演「ハワイの日本と文化」（東京）大島正德▲七・〇〇落語「小言幸兵衛」懐一平▲七・二五俚謠「江州音頭」（大阪）櫻川京龍外▲七・三五淸元「忍逢春雪解」（東京）淸元梅王太夫外▲八・〇〇連續講談「柳澤昇進錄」（東京）神田伯龍

長春座が軍人に無料公開

長春座では目下「世界大戰を語る」を上映中であるが、廿六、七兩日の午前中に限り軍人のために同映畫を無料公開をすることになつた、尙希望あれば各中等學校生徒のためにも無料公開をする由である

橫領の金で一攫千金の夢

遂に捕はれて內地へ送還

一攫千金の夢みて渡滿した三千餘圓の集金橫領拐帶犯人も捕はれの身となつて二十四日午後八時發列車で押送された既報、原籍加茂郡加治田村西村三郎（二三）は本月十日ごろ名古屋市東區小川綿布商で集金員として雇はれ中三千餘圓を橫領してさる二十一日新京日本橋通り長春旅館に僞名して投宿中を城口刑事に逮捕されたがその後取調官に供述してゐるところによると橫領金のうち二千餘圓は內地で遊興に消費し殘金九百九十餘圓を懷中にして滿洲に逃げたらどうせ發見されることはないから九百圓を元手に二萬圓の金がたまつたら錦を着て歸る心算でしたと述べてゐる

新京驛員の看護に蘇る

旅の老婦人を繞る隣人愛

ダンスホールチケットの貨物拔取事件で兎角の世評を買つてゐる新京驛にこれはまたよるべなき旅空で重患に呻吟する一老婆を救ひ、しかも**繁務**の寸暇を見ては淋しく病院に臥す老婆を訪ね子の親に仕へる溫情をもつて看護、ひたすらその快癒を祈る篤行の靑年があり知る人達を感激せしめてゐる美談の主は新京驛案內係山口武久（二十五）氏で二十二日午後一時三十分よりあ[…]が新京驛に到着の際、顏面蒼白の一老婦人が蹌踉としてホームに飛び降りたと見るやその場に昏倒、苦しげに反轉悶轉する、婦人は最早口もきけず無意識狀態に陷つてゐたその時、この哀れな情景を目擊した山口氏は咄嗟に呆然とこれをとりまき、なすことを知らぬ多數の乘降客をおしわけ右婦人を抱き上げるや直ちに婦人待合所に病體を運び、早速の機轉で氷を買ひ求め應急手當を施すとともに濱田醫院に往診を求めたのであつた診斷の結果は盲腸炎と判明、心配氣に見守る山口氏は漸く蘇つたかに見へる婦人を直ちに滿鐵衞生課の患者用自動車をもつて滿鐵醫院に入院せしめたのだつた、この婦人は大連市盤城町四ノ二十五食料品店和田タネ（六十五）さんで**大連**よりハルビン視察團體に參加しその歸路にあつたもの、一時四十分發列車で歸連した同行の團員には見放され誰賴る者なきの病室に呻吟する老婆の身を案ずる山口氏は同夜の徹夜勤務から解放されるや脫兎の如く病院に不週の患者を訪ね疲勞の心身もかへりみず夜九時まで溫く力づけ手あつく看護に盡力したのだつた電報によつてかけつけた同婦人の息子とともに今もなほ山口氏は暇あれば患者を見舞つてゐるが同氏のこの篤行によつて老婆は近く快癒歸連とまでなつたのである

文理大劍道部 對新京試合

卅一日商業で

東京文理科大學劍道部對新京武道會の試合は三十一日午後三時から新京商業學校で開催される

梅本科長離京

奉天稅務監督署總務科長兼經理科長梅本長四郎氏は財政部當局と事務打合せのため滯京中のところ二十五日午後四時發列車で離京した、公主嶺昌圖を經て廿七日歸奉の豫定

建平縣にも ペスト發生か

二十四日熱河省建平縣警務廳から民政部衛生司への入電によると二十三日建平縣公署より西北二十支里の地點二道溝ではペスト樣患者數名が發生し既に六名の死亡者を出したなほ詳細は不詳であるが同縣城西南一道溝から九道溝一帶は昨年もペストが流行した地點である

江口、宮兩氏

二十五日夜公會堂で公演する江口隆哉、宮操子兩氏は地方事務所社會係が藤哲之助氏の案內で挨拶に來社した

特別市新舊經理科長來社

新京特別市公署總務處經理科長から同財務處長となつた宇山兵士氏國務院主計處から特別市公署に入り經理科長となつた標尾信次氏は二十五日更任挨拶に來社した

外地都市對抗野球

【大連國通】關東州施政三十年記念滿日主催、外地都市對抗野球大會は來る九月五日より五日間大連實業球場に於て開催されるが、參加チームは大連實業團、滿洲倶樂部、オール京城、臺北の四チームに決定した

天氣と氣溫

明日の天氣　南西の風曇雨模樣

日の出	前	四時五四分
日の入	後	六時二六分
月の出	後	一時五五分
月の入	後	十時四五分
けふの氣溫	最高	二六度
	最低	一九度四

江口隆哉、宮操子舞踊 今夕公會堂で

滿鐵音樂會主催、本社後援で

滿鐵音樂會主催、本社後援江口隆哉、宮操子の舞踊は廿五日午後七時半から記念公會堂大ホールに於て開催されるが一行は午前八時五十分着列車で奉天から來京直ちに地方事務所を訪れついで本社を來訪後ヤマトホテルに入つた

「防空日本」長春座封切決定

防空思想に對する非常時國民の自覺が喧傳されてゐる折柄防空映畫「防空日本」オール・トーキーが來る三日より長春座に於て封切られる事になつた、本映畫は三井物産が陸軍省に獻納すべくPCL科學研究所に依頼作製したものでこれを今回松竹に貸下げられたものである、撮影指導には東部防衛司令部が當り、原作者には町田敬二少佐を起用、脚本構成にはPCL脚本部の小林勝が當つたもので、主演者として英百合子、夏目初子、小島洋々、丘寵兒の他、特別主演者としてJOAKの中村茂、松澤知惠氏等が顏を並べ空襲下に暴露された吾が日本を吾々は如何にして防ぐかを興味深いストオリイに仕組んで一般に徹底せしめやうとするものである、時局緊迫の折から本映畫の上映に對しては期待されるものが多いが、因に本映畫上映中の入場人員は陸軍省に報告することになつてゐるので館當事者側では一般市民の多大なる讚同によつて本映畫上映の效果を立證すべく意氣込んでゐる

“血と惡魔” あすからの帝都キネマ

帝都キネマ廿六日よりの番組は左の如くパラマウント、新興各一番線に「漫畫祭り」を配した編成である

▽パラマウント「血と惡魔」「銀鼠流線型」「最後の駐屯兵」等のガートルド・マイケルとポール・カヴアナの主演する映畫で「肉彈鬼中隊」の原作者フイリツプ・マクドナルドの原作によりチヤンドラー・スプレイクがこれを改作、アントニー・ヴエラーの脚色を經てラルフ・マーフイが監督に當つた、河川工事中堤防が潰壞して多數の人命を死傷せしめた事に責任を感じた技師バスチオンは自殺をして了つた、これを知つた技師の弟テイモシイは發狂して兄の同僚三人を仇敵として狙ふ、三人の家に脅迫狀が舞ひ込み次々と奇怪な殺人事件が突發する、探偵スパンキーが現はれて犯人を探査するが杳として判らない、發狂せるテイモシイが果して犯人であるか、それとも下手人は他にあるのか怪奇とスリルに富んだ物語りが展開する、助演者としてヘンリエツタ・クロスマン、ジヨン・ロツヂ等が顏を並べる、撮影はベンジヤミン・レイノルズの擔當である

▽新興京都「忍術大阪城」壽々喜多呂久平の原作脚色により新妻逸平太が監督に當つた作品で、尾上榮五郎と千代田勝太郎の共演するサウンド版、慶長十九年風雲急を告ぐる豐臣家對德川家の紛騷の中に、豐臣方のために活躍する眞田十勇士の色氣と忍術の間諜戰を描く、助演者として松本田三郎、櫻井勇、原聖四郎、月美彌子、白石明子等が出演キヤメラは原義勝の擔當である、忍術をとり入れたといふところがミソの娛樂版

“不景氣さよなら” あすからの豐樂新キネ

豐樂劇場並に新京キネマ二十六日よりの番組は左の如く日活二番線に佛ネロ映畫を配した和洋三本立編成である

日活太秦「あばれ行燈」子母澤寛原作小説の映畫化で渡邊邦男が監督に當つたオールトーキー、一宿一飯の恩義から何んの恨みもない男を手にかけた沼津の秋太郎がその男の死に間際の頼みを引受けるところから、股旅もの一流の仁侠の物語りが展開するのである、相手役は花井蘭子、助演者として上田吉二郎、和田君示、林雅美、山田好良等澁いところが顏を並べる、キヤメラは町井春

▽日活現代「群盲有罪」菊池寛原作小説の映畫化、市川春代、中田弘二の主演映畫熊谷久虎の監督作品である

▽佛ネロ「不景氣さよなら」「商船テナシチー」のアルベール・グレジヤンがダニエル・ダリユウを相手役として主演する映畫で監督は「激情の嵐」のロベルト・ジヨードマークが擔當する原作はフレドリツク・コーネルツクルトとジオーマータの二人が書き台詞はジヤツク・コンスタンスが書いた、田舍廻りの少さなレヴユウ團に働いてゐた若い男女が都會の檜舞台を踏むまでの唄と戀の物語り、キヤメラはゲン・シユフタン他一人、アルベール・プレジヤンの唄ひぶりが愉しめませう

雜音

豐樂劇場「第2情報部」はかなりの入りを示す千惠藏の「刺青奇偶」の出來榮えが餘り香しくないので魅力は主として「第2情報部」の方におかれてゐたやうである▼洋畫主力のプロだけに新京キネマに較べると豐樂の方の客足が斷然多いやうである當然の成行ではあるが、新京キネマとしては今の裡に何らか對策を講ずる必要がありはしないか、之で朝日座に大都級の寫眞でも掲り出したら御本家はいよ〱危胎に瀕するであらう▼帝都の「モルガン」は香しからず、「戰場よさらば」が三度び登場してパ社全盛時代を偲ばせる、ヘレン・ヘイスの美しい演技、クーパーもマンジユウも張り切つてゐる▼此處は來々週「大地の愛」が登場する、パ社の「航空十三時間」と併立、ものはとも角、これだけの量的番組ならば申分あるまい

▽二つの顏△

RKO映畫、「男の敵」「Gウーマン」のウオーレス・フオードと「Gウーマン」のブライアン・ドンレヴイーを始め、フイリス・ブルツクス、エリツク・ローズ、アラン、ヘール等RKOの新人連が顏を並べる映畫で、レイ・メーヤー他一人の書卸ものによりジヨン・トイスト他一人が協力して脚本構成監督にはクリスチー・ギヤバンヌが當つた、「鼻曲りビーゾン」といふ物凄い顏のギヤングが身に危險を感じ、手術を施して容貌をすつかり變へ、變名して撮影所に入り一躍スターとなるが、後で素情が暴れて一騷動持上るといつたギヤングもの、變形、キヤメラはジヤツク・マツケンヂルーの擔當　豐樂、新京キネマ廿九日封切、寫眞はウオーレス・フオードとフイリス・ブルツクス

昭和製鋼販賣方針「三原則を堅持す」
―日鐵との協調愈々緊密化―

昭和製鋼の販賣方針は內地メーカー就中日鐵とは飽迄協調的態度を以て進むことであるが製鋼、壓延能力を整備すると共にあくまで次の三方針を堅持する事にしてゐる

(イ)滿洲國は原則として昭和の獨占の市場たらしめること(但し昭和製鋼に於て生産しない鋼材は別である)北支は地理的關係から昭和製鋼の地盤とすること(現在銑鐵は昭和製鋼が獨占的に北支へ輸出してゐる)

(ロ)滿洲北支以外の輸出については內地メーカーと協力し歐米と對抗、市場開拓に努力する事

(ハ)內地市場へは銑鐵半製品の外絕對に移出せざること

最近滿洲市場に對する日鐵の態度は昭和製鋼の製品と競合するものに限り頗る緩和されエキスポートプライスは支那市場其他とは別に出してゐるので昭和との競爭は全くなくなつてゐる、增産計畫等より日鐵と昭和の協調は愈よ緊密になつてきたが北支市場の昭和獨占だけは未決の問題である、しかし昭和製鋼は北支も既に滿洲國の勢力圏內に在り市場としは當然滿洲國の延長として取扱ふべき性質のものであると言ふのである

新義州の製材業者
工場增設排除

年と共に資材難に惱みつゝある新義州の製材業者は却つて增加し同志相殺となりて健全なる發展上に多大の惡影響を與へつゝあるに鑑み新義州製材組合では今回組合の決議を以つて左記二項目を決定し組合員の結束を固めることになり直ちに關係方面へ文書を以つて正式に通達した

一、新設工場は組合員として絕對に加入せしめず

一、新設工場者には營林署材の拂下割當を拒否する

滿炭の五年計畫で 炭田開發進む
密山、阜新等新しく出炭

滿洲の石炭は從來撫順炭を以て代表されてゐた、大正元年に於ては全滿の出炭は僅かに百七十萬トンであつたが撫順炭の增産とともに昭和元年には七百七十萬トン以上を示すに至つた、しかしこの頃から支那側の各炭礦も次第に開發され、昭和五年の如き銀の低落により支那炭激增し、滿洲內總出炭は一千萬トンを突破し新記錄を作つた、而して昭和初年以來の世界的大不況も殆んど影響なく昭和六年上半期も變りのない增産傾向を示してゐたが、滿洲事變以後支那側諸炭礦は殆ど稼行を休止するに至つた、しかし滿洲國建國以後諸産業の新興或ひは復興により、需要增加し出炭も昭和九年には千百四十六萬トンとなり、昭和十年度は一部推定を加へて一千二百萬トンに達するに至つた、これが今後如何といふに滿洲炭礦株式會社の調査では五、六年後の國內消費一千萬トン、船焚を合すれば總計一千五、六百萬トンに達するに至るであらう、而してこれに對する供給は滿鐵系の出炭は急激な增加をなし得ない事情があるため、大部分は滿炭に於いて出炭增加を計らねばならぬ情勢にある、この一千五、六百萬トンといふのは需要方面より考へたものであるが、現在知られてゐる炭出の狀況よりして滿鐵系一千萬トン、滿炭系一千五百萬トン、合計二千五百萬トンは可能であるとされてゐる

現在開發されつゝある石炭資源の大部分は南滿に存在してゐる、年産一萬トン以上の炭礦は全滿に於いて僅かに二十礦を出ない、その中京圖線以南にあるものは約十五礦で出炭量に於いては九十%を占めてゐる、需要も各種産業の發達が殆んど南滿に占められる關係上、滿鐵沿線は總量の七十五%、奉天、大連間は六十一%に當り、需給狀態の甚しい偏在を示してゐる、將來日本の石炭を補給すべき立場にある事を考へれば資源が南滿に多いといふ事は甚だ好都合であるが、將來增加すべき國內消費その他の事情より考へて將來の炭田開發を國內に分散的に行ふことが必要であるとされてゐる、滿炭に於いては本年より五ヶ年計畫により作業を進めて居り、從來の炭礦を整備して增産する一方、蜜山、阜新等を新たに開發し密山はすでに出炭し得るに至り阜新は今秋より出炭し得る調査の完了につれ更に數ヶ所を新たに開發する計畫を有してゐる

滿輸、奉天に 見本市會館建設

滿洲輸入株式會社は日滿貿易に多大な活躍を續けてゐるが豫て日滿商工業者に要望されてゐる見本市會館の建設は今回奉天千代田通り現日滿會館を買收し、滿鐵その他の積極的援助の下に總經費百萬圓を投じて大見本市會館を建設することゝなつた、こゝでは內地及び滿洲國の物産を一堂に集めて陳列なし更に各內地派遣の駐在員を同一宿泊せしめる計畫である

長蘆鹽の日本輸入 發展見込まる
冀察の輸出稅問題解決か

長蘆鹽の本邦輸入に關しては年來の懸案となつてをり未だに實現しないが最近に至り冀察當局との交涉頗に順調に進み愈よ長蘆鹽の本邦工業用に供給せらるゝ情勢が確實化した、目下の折衝では輸出稅問題にあり冀察當局では一噸一元を主張して日本側では九十四錢程度を以て採算としてゐるので未だに解決を見てゐないが、消息通の意見に從へば近く日本側の主張通りに成立し第一回七萬噸の輸入が行はれるものと見てゐる、長蘆鹽は賦課稅强制徵收の目的を以て冀察當局が所有せるもので約四十萬噸と目されてゐる、然も年々增收から處分問題が生じつゝある際とて本件は具體化見込濃厚で日本側でも三菱安宅東洋曹達の各社が夫々引受けを要望してゐるので、今回の成契によつて將來長蘆鹽の本邦進出は他の遠隔地鹽に比して相當發展性がある譯である

副産物增産
內地側で期待

昭和製鋼所の銑鐵百五十萬噸計畫に伴ふ副産化學工業計畫については、滿鐵及び昭鋼において立案中だつたが增産完了後のコークス爐關係副産物は次の如く增産されることになつた(單位年産噸)

	數量
硫安	三一・五〇〇
タール	一〇八・〇〇〇
クレオソート	二〇・四〇〇
ナフタリン	四・二〇〇
ピッチ	五七・〇〇〇
ベンゾール	一五・九〇〇

右のうち硫安を除けば何れもコークス工業に附屬したものであるから容易に增産が行はれず勢ひ製鐵業の生産力に拘束され著るしく不足を告げてゐるものであるだけに昭和製鋼の副産物の積極的增産は頗る期待がかけられ早くも內地需要筋の注目をひいてゐる

北鮮三港の海、陸運送(一)
發展した主要航路の配船

一、北鮮三港の海運

昭和八年九月京圖全線が開通して北滿鐵道に連絡し、雄基、羅津及淸津の所謂北鮮三港を經濟的門戶とする裏日本諸港との日滿最捷路開拓さるゝや、三港の對日滿貿易は急激なる膨脹を來してゐる、先づ裏日本及阪神諸港との配船關係其他に就き現狀如何を觀ることにする

イ、配船關係

北鮮三港を中心として裏日本及阪神諸港間には朝鮮總督府遞信省及樺太廳等の命令航路と、大阪商船、朝鮮郵船、島谷汽船及大連汽船等の自營航路が拓け、積載噸數三千噸級の優秀船も就航してゐる、玆に主要航路及配船名を示せば次の如くである

命令航路

1、雄基―東京線(朝鮮總督府命令、朝鮮郵船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、城津、元山、釜山、關門、神戶、名古屋、淸水、橫濱、東京
就航船 盛京丸(二、六六〇噸)長壽山丸(二、一三一噸)

2、雄基―大阪線(朝鮮總督府命令、朝鮮郵船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、城津、元山、釜山、萩、關門、博多、神戶、大阪
就航船 榮江丸(一、一六〇噸)春川丸(九七一噸)

3、大阪―浦鹽線(朝鮮總督府命令、朝鮮郵船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、城津、西湖津、元山、釜山、博多、關門、阪神、浦鹽
就航船 漢江丸(一、二八三噸)慶州丸(一、二八三噸)

4、北鮮―新潟線(朝鮮總督府命令、朝鮮郵船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、新潟
就航船 新京丸(二、六七〇噸)

5、朝鮮―上海線(朝鮮總督府命令、朝鮮郵船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、釜山、上海、靑島、仁川
就航船 平安丸(一、五八四噸)

6、淸津―敦賀線(朝鮮總督府命令、朝鮮郵船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、城津、元山、敦賀、新舞鶴、宮津、堺
就航船 膠安丸(二、〇九一噸)

7、敦賀―北鮮線(遞信省命令、北日本汽船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、敦賀
就航船 さいべりや丸(三、四六二噸)、滿洲丸(三、〇五四噸)

8、新潟―北鮮線(遞信省新潟市命令、日本海汽船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、新潟
就航船 嘉義丸(二、三四六噸)

9、樺太―北鮮線(樺太廳命令、北日本汽船經營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、城津、新潟、伏木、舞鶴、敦賀、船川、小樽、大泊、本斗、眞岡、野田、泊居、久春內、惠須取
就航路 江海丸(一、二六六噸)、溫州丸(一、一八五噸)

10、大阪―淸津線(大阪商船自營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、門司、神戶、大阪
就航船 貴州丸(二、五六四噸)、武昌丸(二、五五六九噸)

11、臺灣―北鮮線(大阪商船自營)
寄港地 雄基、淸津、城津、西湖津、博多、長崎、鹿兒島、基隆、高雄
就航船 江蘇丸(三、一七八噸)

12、新潟―北鮮線(島谷汽船自營)
寄港地 淸津、羅津、雄基、新潟
就航船 鮮海丸(二、一二六噸)、河南丸(三、二八〇噸)慶雲丸(一、九二一噸)

13、大連―北鮮線(大連汽船自營)
寄港地 雄基、羅津、淸津、大連、青島、芝罘
就航船 遼河丸(一、二六四噸)

14、北鮮、橫濱、急行線(朝鮮郵船自營)
寄港地 淸津、羅津、雄基、鹽釜、東京、淸水、伊勢灣、阪神・
就航船 眞盛丸(三、五五六噸)、喜美丸(三、一九四噸)

以上の他、不定期航路としては、栃木商事株式會社(京濱―北鮮線)、川崎汽船株式會社(名古屋―北鮮線)、滿鮮運輸株式會社(名古屋―北鮮線)、大連汽船株式會社(大連―門司―北鮮線)、復州煤鑛公司(營口―北鮮線)及び飯野汽船株式會社(內地―北鮮線)等がある

土建ニュース

●新京保線區
▲新京驛旅客地下道排水溜桝修繕工事 豫特 七十二圓 上木組
▲新京驛塵捨場修繕工事 豫特 二百七十五圓 村松組
▲公主嶺驛本家屋根葺替工事 落札 二千三百圓 高岡組 二、三〇〇・〇〇 井上組 二、三〇〇・〇〇 上木組 二、三〇〇・〇〇 榊谷組 志木土木、森本組、倘厚溫の三者は辭退す
▲南新京―新京間上り線自六九八K三四〇M至六九六四〇M水害復舊工事 落札 一千七十圓 蔦井組 一、七〇・〇〇 丸山組 一、〇七・八〇 三田組 一、一三・二六 坂本組 一、一五六・八〇 倘厚溫 一、一八九・〇〇 養合祥

●新京地方事務所
▲新京中學校寄宿舍增築工事 落札 二萬五千九百圓 辻組
二回 今井組 蔦井組 草場組 辻組 今井組 吉川組 長谷川組
一回 辻組 今井組 吉川組 長谷川組
(三回に於て今井組、辻組外指名變更豫定工事)
豫告工事

●國都建設局
▲安民大路一部排水本管布設工事 開札 廿六日午前十時
▲東安街義和屯間調整地送水鐵管布設工事 開札 廿六日午前十時

●實業部林務司
▲嫩江林務所新築工事 開札 二十八日午前十一時 決定工事

●滿鐵地方部
▲泉頭社宅二戶新築工事 豫特 五千九百九十五圓 阿川組

●大連鐵道事務所
▲沙河口陸橋上下線間接續ム延長工事 落札 七千六百圓 今井組 松浦組 岡組 錢高組 志岐土木 豫告工事

●滿洲化學工業株式會社
▲滿化集合宿宅新築工事 開札 近日中
▲眞金町內社宅三二戶壁改造修繕其他工事 開札 近日中 決定工事

●錦州省公署
▲義縣北門外大陵設架工事 示談 六萬一千七百六十一圓十四錢 荒井組
第三回 荒井組 福昌公司 大林組 大倉組 鹿島組
第二回 荒井組 鹿島組 福昌公司 大林組 大倉組

●吉林鐵路局
▲牡丹口日人局舍排水管布設工事 落札 三千六百圓 松村組 岡組 東亞土木 日滿土木
▲煙筒山裝甲軌道車新築工事 落札 二千三百四十五圓 岡們製作所 東亞公司 栗原組 復興公司
▲吉林電話交換所新改築工事 落札 八千三百七十八圓
▲老爺嶺外十八站信號機其他ペイント塗替工事 落札 一千三百九十九圓八十二錢 小宮山工務所 福昌公司

電力民有國營批判座談會といふ會合の席上、松本烝治博士の言ひ方は仲々鋭い所を示してゐる▲「試みにこの法律に如何なる名前を付するかと言へば、電力會社橫領法とでも名前を付けるのではなからうか、私の有つて居る物を取上げてしまふのである、金を拂はないで取上げるのだ、一定の貸し賃といふものだけは拂ふ、併し金を拂はないで取上げるといふことになるのではなからうか」といふ調子▲最近の報道では電氣協會の代表者が「政府の態度は最近少し轉向して來て居るのぢやないかと」見たのが當つてゐたやうだ

商況欄
(八月廿五日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊 一九片八分三
同 先限 一九片八分三
紐育銀塊 四四仙四分三
孟買銀塊 四八留比〇〇
米英爲替 五弗〇〇〇〇
米日爲替 二九弗四八仙〇
米支爲替 三〇弗二五〇
スチール 六七弗〇〇
アナゴンダ 三八弗〇〇
英日爲替 一志二片〇分一
英支爲替 一志二片三分
印日爲替 七七留比八分五

▲米棉

現物 一一仙八五
十月限 一一仙四〇
十二月限 一一仙四四
一月限 一一仙四八
三月限 一一仙五三
五月限 一一仙五三
七月限 一一仙五一

▲印棉

ブローチ 二二三留比
オームラ 一九〇留比
ベンゴール 一五五留比

▲市俄古小麥

九月限 一弗一〇仙八分七
十二月限 一弗一〇仙八分三
一月限 一弗一九仙〇〇

▲カルカッタ麻袋

帆布 二二留比四分三
袋 一九留比八分五

金銀市況

●上海標金
昨引 一一六・〇
本寄 一一六・〇
步
●大連鈔票

現物

寄付 一〇〇・〇〇
引 一〇〇・〇〇
高 一〇〇・〇〇
安 一〇〇・〇〇
出來高
●大連鈔票銀大洋
八月廿八日限 九月十三日限
寄付 一〇〇・〇〇
步
引 一〇〇・〇〇 不來
高
安
出來高
現物 不申

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回 買賣 一〇二・
第二回 買賣 一〇二・
第三回 買賣
▲倫敦向
第一回 買賣 一志二片 三二分
第二回 買賣
第三回 買賣
▲紐育向
第一回 買賣 三〇弗
▲大連爲替
▲上海向 一〇二、四七五
▲臺合向 一〇二、四二五
▲阪神日米爲替
第一回 買賣 二九弗
▲阪神日英爲替
第一回 買賣 一志二片

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄 引
東新 鐘紡 滿鐵新 日産 大阪
▲大阪株式(短期) 寄 引
大新 鐘紡 東新 日産 日魯
▲大連株式(短期) 寄 引
五品 豆新 鈔新 錢新 東新 滿鐵新 二新 日産 鐘紡
▲奉天株式(短期) 寄 引
滿取 東新 大新 日産 五品 豆新 鈔新 滿鐵新 二新 電甲 同乙 東拓 滿興 滿毛 優先 日疊

各地商品市況

▲大阪棉糸
八月限 二八・九〇 二八・七〇

▲大阪棉花
▲大阪人絹
▲各地特産市況

新京取引所市況
(八月廿日前場)

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙 一部五錢 一ヶ月壹圓
定價 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告 普通 一行 壹圓五拾錢
料金 特別 一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 〔編輯局專用(3)三三二五 營業局專用(3)三三〇〇〕

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

全滿鐵道改革の中樞

鐵道總局開設準備進捗

諸規定並びに人事異動の詮衡も

本月中には全部完了

【奉天國通】滿鐵機構改革の中樞を爲す全滿鐵道一元化に依る鐵道總局新設に關する滿鐵重役會議決定案は廿四日滿鐵本社より總局に送達されたので總局では右決定案大綱に從ひ、直ちに新鐵道總局開設準備に着手酒井總務處長、人見文書、折田人事兩課長を中心に分掌規定の起草並に鐵道部總局及び鐵路局に亘る廣汎なる人事異動の銓衡に着手　遲くも本月中に全部を完了した上滿鐵本社と最後的打合せを行ひ、九月中旬までには正式發表の運びとなつた、而して新鐵道總局長は新機構の重要性に鑑み大村副總裁の兼任說が最も高かつたが現在滿鐵々道部長と鐵路總局長とを兼ね　實際的に全滿鐵道綜合經營に當つて來た宇佐美理事の總局長就任が確實的と見られるに至つた

全滿鐵道の一元化

決議大綱成る

鐵道總局新機構大綱

【奉天國通】全滿鐵道中央統制機關として愈よ來る十月一日より奉天に設置せられる鐵路總局の機構組織は既に滿鐵重役會議にて原則的に決定をみたので目下鐵路總局に於て細目に亘つて最後案の決定を急いで居るが、鐵道總局の組織は鐵路總局及び鐵道部、鐵道建設局、北鮮鐵道管理局の機構を完全に併合一元化し全滿の鐵道、港灣、事業並に附帶事業の合理的經營を行はんとするものである、確定をみた總局新機構大綱大の如し

一、鐵道總局の組織は總局長並に次長制の下に部、課、係の三段制を採用し總務、運輸、工務、機務、警務、産業、經理、建設の八部を置く

一、現業機關は既定の牡丹江鐵路局を新設する外全部現狀維持

一、滿洲國々鐵の特殊性に鑑み鐵道總局新設後も滿鐵、國鐵の會計を獨立せしめ總局經費の按分制を採用

尙懸案として殘されて居た鐵道建設局は總局の一部局縮小北鮮鐵道局は鐵道事務所として牡丹江に鐵路局管下に置かれる事に決定又滿鐵産業部と新設される總局産業部との權限問題に就ては現狀の儘とし總局産業部は各路局産業處を統括、現場統制機關として滿鐵産業部は滿洲國産業開發に關する總括的研究調査實行機關として各々の機能を發揮せしめる事となつた

網を充實すると共に支那、ソ聯その他の近東諸國に對する宣傳紹介を目的とし國際宣傳係も包含し歐米諸國に對する宣傳も併せて行ひ世界的大滿鐵の存在を國際的に認識させやうと云ふものである

閣議で採擇された

重要國策案項目

庶政一新期し內閣より發表

【東京國通】政府は組閣當初の聲明に基き庶政一新の實を擧ぐ可く重要國策案の樹立を急ぎ、各省に於て立案せる國策案に就て整理を行つた結果廿五日の閣議で漸く左記採擇項目を決定發表した

▽內閣發表―昭和十一年度以降に於て重點を置き施政すべき事項大要左の如し

一、國防の充實
二、教育の刷新改善
三、中央地方を通ずる稅制の整理
四、國民生活の安定
　イ、災害防除方策
　ロ、保健施設の確立
　ハ、農山漁村經濟の更生振興及び中小商工業の振興等
五、産業の振興及び貿易の伸張
　イ、電力の統制强化
　ロ、液體燃料及び鐵鋼の需給
　ハ、纖維資源の確保
　ニ、貿易の助長及び統制
　ホ、航空及び海運事業の振興
　ヘ、邦人の海外發展助長等
六、對滿重要策の確立
　イ、移民政策及び投資の助長策等
七、行政機構の整備改善

國策項目中に含まれて居ない事項に就ては如何なる措置を講ずるのか、之に對し廣田首相並に馬場藏相より夫々適當に考慮する旨答へ、同十一時半散會した

閣議圓滿に進行

重要國策具體化の緒につく

【東京國通】廣田內閣の庶政一新國策を決定すべく廿五日の定例閣議は午前九時半より首相官邸で開會、先づ既報の如く重要國策の項目を決定した後、廣田首相は各大臣より既に提出された政策中特に重要と認められ且つ豫算に關係あるものを別紙の如く承認を得たいと思ふ、從つて是に關係ある法律案の準備を急がれたい尙ほ各項に關係する事項に關しては各省間に熟議を遂げ至急具體案を作成されたい、豫算に關係なきものも今後更に研究の上施行したいと思ふ

例へば司法省では法規整理に關して研究調査すると云ふが如きである

と述べ之に對し二、三閣僚より「國策項目に關して更に具體化せよ」との發言があつたが結局項目の決定は具體化の第一步であり、之によつて現內閣が取上げる國策の範圍が自ら明かとなつた譯であると總理の說明通り決定し、次で林法相は

滿鐵情報係を課に擴充し

ソ支情報網充實

【大連國通】滿鐵では滿洲の事情及び滿鐵を廣く歐米各國に正しく紹介認識せしむるため曩に資料課に國際宣傳係を新設したが、同時に極東特に支那ソ聯邦に對する宣傳を徹底するため資料課の情報係を獨立して課となし、總裁直屬の情報宣傳機關とする事となり、職制改革を機にこれを實行する事となつた、新情報機關は極東ソ聯及び支那の情報

蘇獨關係險惡

【ベルリン廿四日發國通】ドイツとソヴエトとの軋轢面はスペイン內亂を契機として益々增大し兩國關係は險惡な空氣に覆はれて居るがヒトラー總統は廿四日突如陸海軍の入營期間を一ヶ年延長し一律二ヶ年とする旨の緊急令を發した新緊急令實施までの獨軍の暫定的配備に關しては國防相ブロンベルグ將軍が近く命令を發する筈である非公式調査に依れば入營期間の一ヶ年延長に依りドイツの陸軍兵力は約百萬に達する譯だが、ヒトラー總統が斯くの如き非常手段に訴へるに至つたのはソヴエト聯邦が最近徴兵令を改正して徴兵適齡を從來の廿才より十九才に引下げ赤軍兵力を一躍五割擴大して平時に於て約二百萬の常備兵力を整備するに至つたと共に頻りに西部國境の軍備を充實して居る事實に鑑み之に對抗する爲めと見られて居る

ソ聯軍備擴充に對抗

獨も常備兵力增大

陸海軍の入營期間を延長

全經濟機構も戰時編成

【ベルリン廿四日發國通】現在ドイツの陸軍兵力は志願兵と徴集に依る義務兵とが半々づゝで合計六十萬であるが、今回の兵役期間一ヶ年延長により常備兵力は約百萬に達し更に義務兵力は實に尨大なるものとなる見込みである、ドイツ政府は兵役期間の延長と同時に國內の全經濟機構を戰時編成に建直す意向と解されるが、兩々相俟つてドイツは恐らく歐洲最强の陸軍を保有するに至るだらうと見られてゐる、因に一九一四年より二〇年生れの徴兵適齡前後の壯丁數は三百卅萬六千人である

歐洲最强の陸軍國を標榜！

長沙の日本人旅館に

怪漢、爆彈を投擲

爆彈は中央軍使用のもの

【奉天國通】當地某機關に達した情報に依れば、去る二十四日湖南省長沙日本人旅館湘南クラブに二名の支那人怪漢が爆彈を投じ家財器具を破損居合はせた日本人二名負傷、長沙駐在武官都甲少佐は長沙領事と協議の上湖南省主席何鍵氏代理に對し犯人の迅速なる逮捕並に負傷者の慰問、破損家具の辨償を要求した所代理は直ちに之を承認した、最近湖南省に排日運動が擡頭して居るのは事實であるが右爆彈が中央軍使用のものなる事より判斷して裏面に中央の手が動いて居るものと見られる

長尾前司長

挨拶に來社

前滿洲國民政部警務司長長尾吉五郎氏は二十五日告別挨拶に來社した、同氏は來月十日

皆川總務司長

正式就任は九月上旬

文教部總務司長に榮轉した前錦州省總務廳長皆川豐次氏は廿五日午前七時新京着列車にて假就任し、廿八日再び錦州に赴き事務引繼ぎを了した上正式就任は九月上旬、尙は同時に新任學務司長都富佃氏は

目下滿鐵醫院に入院加療中のため同氏の就任は十月上旬の豫定である（寫眞は皆川新任文教部總務司長）

期待される

皆川、都富兩司長の手腕

今次の異動に依り文教部總務司長に任命された皆川豐次氏は別報の如く九月上旬正式着任の豫定であるが、從來の同部內の人事は全く沈滯そのものので久米前總務司長時代より再三人事の刷新斷行が叫ばれてゐた折柄とて今回皆川新司長の着任を待つて同部全般に亘る人事の更迭を見るものと期待される更に先般安東、錦州、黑河、龍江四省の教育、總務、學務四科長が免官となつて以來之が後任人事に就き民政部對文教部間に面白からざる空氣さへ胚胎し又兎角一般より文教部縮小合併說等の喧傳されてゐる際とて皆川、都富兩司長の就任に依つて如何に處理されるかは最も期待されて居る

駐ソ大使に

重光氏決定

【東京國通】有田外相は大田駐ソ大使の後任として前外務次官重光葵氏を起用するに決定、ソ聯政府にアグレマン要請の手續を取つて居たが廿五日アグレマンが到着したので同日の定例閣議に報告正式決定した、而して暑中に付新任式を執行はせられず廣田首相より上奏御裁可の手續を取り官記傳達の上一兩日中に左の如く發表される事となつた

休職外務次官　重光葵
任特命全權大使
ソヴイエト聯邦駐劄仰付らる

滿洲油化工業株式會社

創立總會を開催

廿七日中銀クラブに於いて

事賣制度の布かれた滿洲石油事業に一エポックを劃すべき石炭液化工業は滿鐵撫順に於ける施設と併行して、かねてから大阪の濱順、平田重兵衞兩氏等が設立計畫中であつた滿洲油化工業株式會社は二十四日全株の拂込を終り來る二十七日中銀クラブで創立總會を開催する事に決定した、同社は本社及び工場を四平街に置き主として西安炭を材料として液化事業を行ふものであるが、準特殊會社で資本金二百五十萬圓である同社の液化方法は八幡製鐵所黑井技師十年の苦心になる發明で石炭低溫乾溜法によるが乾溜して發生したガスから水素を製造、同じく發生したタールに高溫壓力を加へて揮發油と機械油を製造、さらにその殘滓から副産物としてコーライトを製造するものである、資本關係は總株五萬株の中日本側は日石及び生保關係、滿洲側は滿炭、滿洲石油、その他濱順氏等民間資本であり生産品は滿洲國政府に於て全部買上げる事となつてゐる

植田軍司令官歸京

奉天、撫順、安東の初巡視を終へた植田軍司令官は廿五日午後五時卅分湯あじあで歸京した午後二時着列車で着任する後任の大島豫備少將に事務引繼ぎを行ひ、歸朝、約二ヶ月くらひ東京に滯在の上歐米視察の途に上る筈

陸軍第廿五回論功行賞

第七師團管下

【東京國通】陸軍では二十五日第二十五回行賞として第七師團陸軍步兵大佐高木義人氏以下五千七百五十一名及び保留中の二十八名を發表したが同師團は第一次行賞を締切つた昭和九年三月一日前渡滿熱河警備に就いたもので、もと々々第二次行賞として發表の豫定であつたが、同師團管下の北海道、東北方面が特に農村疲弊の現狀にあり、且つ十一月には大演習を取行はせられる事となつてゐるので繰上げて第一次行賞として發表されたものである、主なるもの左の如し（官等は昭和九年四月二十九日現在）

旭日中綬章
步兵大佐　高木義人
同　砲兵大佐　秋山充三郎
旭日小綬章
步兵少佐　早速廣吉
同　步兵少佐　澤村謙甫
同　砲兵少佐　山賀治郎
　　　　　　　佐野四郎
雙光旭日章
步兵中尉　山道豐吉
一等主計　中西嘉平
二等主計　田中季喜

對西武器輸出禁止に

ソ聯佛國に同意

各國の參加條件に覺書手交

【モスクワ廿四日發國通】ソ聯外務人民委員リトヴイノフ氏は廿四日駐ソ聯ペイアール佛國代理大使を招致してドイツ、イタリー及びポルトガルが同樣の態度に出る事を條件にソ聯邦もスペインに對する武器其の他軍需品輸出禁止に同意する旨通告し覺書を交換した、其の內容は次の通りである

一、スペイン本國、スペイン領モロッコその他スペイン屬領に對する一切の武器、彈藥、軍用機材、一切の航空機並に其の材料及び艦船の直接の輸出、再輸出、通過輸送等を一切禁止する

一、右協約に參加する各國は協定遂行のため採れる一齊の手段に關する通告を交換する

一、本協約は英、佛、獨、伊葡各國政府が參加する場合に於てのみ效力を發生する

西南問題解決後

蔣氏、行政院長辭任か

【奉天國通】當地に達した情報に依れば上海に於る外人筋では蔣介石氏は今次西南問題解決後は行政委員長の職を辭し專ら軍事國防に全力を注ぐものと觀測して居るがその後任には孔祥熙氏が有力である

南朝鮮總督

大阪發赴任

【大阪國通】南朝鮮總督は廿五日午前十時四十分大阪發塵原秘書官、新見人事課長を同伴一路朝鮮赴任の途に就いた

オリムピック選手

十月中に凱旋

【東京國通】ベルリンの檜舞臺で縱橫の活躍をなした我がオリムピック派遣陣は來る九月四日東京着の馬術代表を先頭に十月卅日着豫定のレスリング選手團を殿りとして陸路海路より六隊に分れ凱旋するが、大日本體育協會では九月十日前後の評議員會で右代表團の歡迎會其の他の歡迎方法を決定する事となつた

人事往來

▲濱田中將（駐滿海軍部司令官）二十五日午後ハルビンより
▲菊地武光氏（福岡商業校長）同ハルビンへ
▲岡崎雄氏（鞍山鋼材常務取締役）同來京中央ホテル
▲近藤紫司氏（近藤林業主）同

閑話

岩井總領事代理の入川阻止、上海歌舞伎座襲擊未遂事件等▲支那側の反日行爲は益々頻發するばかりである▲出先官憲は今まで數限りなく發生した反日事件に關し其の都度嚴重抗議を提出してゐるが▲更に效果なきのみか益々つのり益々惡性になるばかりである、嚴重抗議も一度や二度ならともかくあまり出しすぎると慢性になつてむかうでは屁とも思つてゐない▲在支邦人の生命財產が大事なら月並の嚴重抗議など引つこめて置いて一つどかんとやれ▲全滿、南北支那、台灣內地各都市の代表旅館荒しの大物を新京署員がひつ捕へた▲天網恢々疎にしてもらさずとは云へ署員の一ヶ年に亘る血のにじむやうな努力の賜物にほかならぬ▲これでこそ我々は枕を高くして太平樂を言へるのだ衷心から感謝すべきである

〔社說〕

北支對策の根本

武官會議の成果に關して

一

西南問題が一應の落着を見た以上、その次に來るものが蔣介石氏の對北支實權者に對する牽制工作强化であらうことは夙に豫期されたところであつた。最近に於いて北支に屢々起つた不祥事件はすでにさうした工作の進展を裏書するものの如く考へられた。一方に於いては支那一流の遷延政策が執られてゐる。それは自國に不利な問題の解決を出來るだけ將來に押し延ばさうとするやり方である。そのため局地的な北支の問題も、全面的な國交調整も、すべて停頓し澁滯した貌となつてゐる北支の安定を望み、東亞全局の平和、日支兩國民の福祉を待望する日本の立場からは、局面の打れた絕對的に必要なのである。

二

先般開催された北支武官會議について報道されたところによれば、民衆の福祉增進を眼目としてこれに適應するあらゆる工作を促進奬勵する。最近の蔣介石氏の北支實權者に對する壓迫を嚴重監視し、北支明朗化工作を妨害せんとする行爲を絕對に排擊する、宋哲元氏の冀察政權は日本と協定する意思ある限りこれを援助する、第二十九軍の頻々たる侮日事件は徹底的にこれが取締を實行せしめ、區々たる小事件は大局的見地に立つて善處する、關稅引下げは絕對必要であり、川越大使と蔣氏との交涉については側面より積極的に援助する、日支經濟提携、殊に北支の提携は早急を要するを以つて冀察政權を鞭撻し日本經濟力の進出を期待し產業交通の發達を促進せしめる等の大綱が決定したといふ。

三

曾つての北支農民運動の際以來の、民衆の福祉增進を眼目とし、これに適應するあらゆる工作を促進奬勵するといふ方針がこゝにも貫かれてゐる。ことを注意すべきである。これは北支の問題のみならず、現在より將來に亘つてのわが大陸政策の根幹をなすものとしてあらゆる場合に主張し闡明さるべきものでなければならぬ。この基本的なものは、あくまでもそのまゝに先方にも受け容れらるべきものである。この事が理解されないならば、明朗化を妨げ、協力を避ける如き工作が徹底的に解消されることは望み得ない。而してこれを理解せしむる道は、今日の狀態の下に於いては、經濟的提携を具體的に實行し、產業、交通等の發達を促進せしめて實際的成果を如實に感得せしむる以外には無いであらう。その間些少の摩擦が起ることも不可避であらうと豫防しつつ、着々とこの仕事がなされて行くことを待望せざるを得ない。

紡聯、對比島組合

意見全く對立

綿布輸出統制案物別れ

【東京國通】紡績聯合會では廿四日午後對比島日本綿織物輸出組合と懇談會を開き香港經由比島向け日本綿布の密輸防止の爲對比島輸出組合が外務省の慫慂に基き近く實施せんとしてゐる香港向け綿布の輸出統制案に對し紡聯側は

一、輸出組合の統制案は一九三四年及び三五年の實績を基準に輸出割當を行はんとしてゐるが之は過去の實績を過當に擁護するものである

二、香港經由比島向け密輸防止策に就ては日米兩國政府間の外交々涉により解決を圖るべきである

と反對意見を開陳したに對し輸出組合側は第一項に就ては密輸の行はれない當時を基準に輸出割當を行ふものであり第二項に就ては日米兩國政府間決定によつて統制を行ふものなりと主張し結局兩者對立物別れとなつた

岩村刑事局長

來京に決定

【東京國通】滿洲國に於ける治外法權撤廢は準備工作たる租稅權整理を終り漸進的に法權撤廢を行ふ段取りに漕ぎつけてゐるが愈よ法權を撤去するに就ては滿洲國に於ける司法權の運用狀況を實地について調査する必要があるところから司法省岩村刑事局長は高田書記官を帶同し約二週間に亘つて同國內樞要地の法院視察を行ふことになつた、高田書記官は先發して朝鮮總督府管內に於ける司法事務の運用狀況を視察中であるが岩村局長は來る二十九日出發新京に直行する豫定である

大淵理事歸朝

【長崎國通】滿鐵東京駐在理事大淵三樹氏は約一ヶ月に亘つて滿洲並に北支を視察中のところ廿四日午後一時上海より長崎入港の上海丸で歸朝、直に東上したが出發に先立ち同氏は滿鐵の改組は單に職制の改革だけで之は近く政府の認可あり次第斷行する事になつてゐる、又北支は想像以上によく統制がとれてゐると語つた

日本紡績の北支進出

桑島局長、當業者に要望

【大阪國通】來阪の桑島東亞局長を迎へ紡績聯合會並に在華紡績同業會では廿四日午後懇談會を開催、桑島局長は北支の經濟情勢視察報告を爲し我紡績業者の北支紡績資源開發の爲積極的乘出しを要望した後當業者と種々意見の交換を遂げた、桑島局長は散會後語る

現下の日本は北支に對し經濟開發の大使命を有するものでその形式は日支合辦、日支提携、日本の資本輸出等種々あらうが要は日本の產業の資源確保にある此使命を關西財界人に說明したもので今後の具體策は實業家自身の實行に俟つのみである、日支紡績の棉花自給策に就てはその必要は言ふまでもないが幸に支那側も此點に就ては相當理解を進めてゐるので支那農民の救濟の爲又日本紡績の原料自給の爲の氣運を捉へて更に雄飛すべきものと考へる我が紡績業者の北支資本輸出も工場建設と言ふ位では足りない、もつと大々的に例へば投資のシンジケートたる大金融會社を作るとか其の他の方法を確立しなければならない、尙ほ北支棉花の開發會社を作ると言ふのはデマである

白バイお目見得

時節柄赤より感じがいゝ

圓タク運轉手から鬼のやうに嫌はれてゐた警視廳交通課の追尾自動車赤バイが白バイにかはり十九日午後から試驗的に市內にお目見得した、寫眞は勢揃ひした白バイ

銑鐵次期需給供給不足豫想

十二、三萬トンに及ばん

【東京國通】銑鐵の次期十月より十二月の需要申込は製鋼用十九萬九千九百噸、鑄物用二十五萬三千八百噸、合計四十五萬三千七百噸に上りこれに對し供給可能數量は三十二萬噸なるため十二、三萬噸の供給不足となる

滿鐵社債四千萬圓

一般に賣出決定

【東京國通】第五十三回滿鐵社債七千萬圓（低利借替五千萬圓、新規二千萬圓）は借替の分二千萬圓、新規の分一千萬圓、合計三千萬圓を夫々シンジケート團引受とし、殘額四千萬圓を一般に賣出す事となり、廿四日興業銀行に下請業者を招致、正式條件を提示した

募集總額	七千萬圓
利率	年四分一厘
發行價格	百圓に付九十九圓七十五錢
期限	十四ヶ年

日本マグネ化工と南滿鑛業競爭

—後者の內地獨占破る—

日本マグネシヤ化學工業會社の進出以來マグネシヤ・クリンカーの販賣市場は南滿鑛業との間に猛烈な競爭が展開されるにいたり市價慘落を示現するにいたつた、日本マグネシヤ化學工業は理研大河內博士等が中心となつて計畫されたものでまづマグネシヤ・クリンカーの製造販賣を開始するにいたつたものである、しかるにマグネシヤ・クリンカーは從來南滿鑛業の絕對勢力下にあつたものであつて內地市場を殆ど獨占してゐたが日本マグネシヤの進出によつて南滿との正面衝突を演じて來たものである、南滿鑛業としても舊地盤を維持するためには勢ひ値段を引下げ日本マグネシヤの進出を抑へなければならぬわけだが日本マグネシヤは地理的にも有利であるのでかなりの程度まで値引き競爭力があり果然兩社の激戰となつたわけである、兩社の對立深刻化とゝもに市價は最近益々低落しつゝあるので今後の動向はかなり問題視されて來た

丁香廬漫筆（五〇）

◎鬪牛（一）

鬪牛好きの西班牙は各都市毎に設けある鬪牛場に滿足せずして遂うく全國を鬪牛場にして了ひ、左右兩派が各自對手を鬪牛场の牛かなぞの樣に心得て旣に一個月餘も日日大虐殺、大屠殺を還ふしつゝある。何んとも御盛んのことであるが正氣の沙汰とは思はれ無い、大方鬪牛場の露と消えた幾千萬の牛の亡靈が人民に取憑いてるのかも知れぬ。

×

英國で此れから西班牙旅行に出掛けやうと思ふと云つたら英人はブルフアイトの見物が出來て結構だといふて吳れた旅行が濟んで獨逸に歸つて來ると獨逸人からスチイヤ・カンプフは如何だつたと訊かれた、西班牙と云へば直ぐ鬪牛を聯想する程鬪牛に因りて西班牙は有名である。旅行も終末に近づいたとき此名物を見逃してはとバアセロナでホテルのマネジヤーに今日は一つ鬪牛を見た行き度と申出ると入場券は今日になつて直ぐは買へぬ明日の坐席を申込んで置ふといふことであつた、成可くよく見える場所との注文なので入場券に邦貨の十五六圓も拂つた、當日になつて出掛けて見ると成程相當の坐席であつた。

×

鬪牛開始は午後二時過ぎと記憶するが定刻前圓型スタディアムの周圍上下の坐席は旣に盡く滿員であつた。軈て定刻開場となると第一鬪牛手以下騎馬の鬪牛手に至るまで十幾人位が中世紀の服裝を綺麗に着飾つて出場、場內を一週練り步き貴賓席の前では敬禮して引揚げる、何んのことは無い我角力の土俵入其儘であり觀衆の氣持も目標らしく拍手喝采して迎へる。此が濟むとスタディアムの一隅にある鬪門の扉を上に引開けると今の今迄何事も知らず寢そべつて居つたどらう處の糞にまみれた尻ぺたそのまゝの小憎い牡牛が一匹場內に飛出し只キヨトンと當惑顏をして居る、すると鬪牛の第一陣を承る騎馬の武士が長槍さげて此に立向ふ見ると馬の胸部腹部凡そ突かれ相な部分は野球の捕手の前垂れ見たやうなものでプロテクトされてる槍の穗先きは極めて短かく精々三寸位言はゞ牛に對する無言の挑戰狀で對手を怒らせる丈けの苦痛さへ與へればそれでよいのであらう。

蔡廷楷の廣西軍一齊に行動開始

【廣東廿五日發國通】當地軍界の消息に依れば十九路軍及び周祖晃軍を基幹とする廣西軍約四萬は蔡廷楷氏指揮の下に廿三日夜來三路に分れ主力を梧州の南方變木墟より封川都城へ、一路は懷集より四會へ向へ、一路は岑溪より羅定へ一齊に移動を開始し二十三日夜來より隨所に尖兵の局部的衝突が行はれてゐると、一方興安に迫つた胡宗南軍の一部は廿三日興安の東南十支里

ハ陸軍病院看護兵入隊式

【ハルビン國通】ハルビン陸軍病院では來る九月一日第四期看護下士新兵の入隊式を擧行するが今回は第四軍管區四十一名、第六軍管區廿名、計六十一名である、尙これ等下士官兵は四ヶ月間の教育を受けて原隊へ歸還する筈である

阿城縣下の掃匪

【ハルビン國通】滿軍騎兵第〇〇團〇連は八月十九日阿城縣牛拉山に於て考鳳林匪百五十と遭遇、激戰の結果これを東南方に潰走せしめた、敵の遺棄死體三、鹵獲馬六、旗十二、尙同團〇連は同日阿城縣三道衛に於て山部匪約百四十と交戰これを北方へ潰走せしめた、敵の遺棄死體四、鹵獲品小銃一、人質奪還四

音響防止の爲

線路の撤叉改良

（大連國通）滿鐵では驛構內線路分岐點で起る不快な衝擊と音響を防止し、旅客に快い旅行をさせ樣と分岐點の固定撤叉を可動撤叉と取替へる事になり、本年度中に三十里堡石河兩驛で試驗的に實施、十二年度には大連—熊岳城間を取替へ、十五年度迄には連京線全區間の取替工事を終る事となつた

廣東海關統稅徵收

【東京國通】廣東中村總領事より二十四日外務省への報告によれば廣東海關は來る九月一日より外國輸入品又は統稅施行區域外より移入される綿糸、セメント、マッチ、卷煙草、葉煙草、麥粉、アルコール、乾燥煙草に對し統稅を徵收する事となつた旨を發表した

の地點に進出同地守備の廣西軍と待峙中と報ぜられて居る

讀者の頁

投稿歡迎　中傷不可

新聞社へ小言

公平な市民

新聞といふもんは輿論の發生機關であり輿論とは一般大衆の聲であり一般大衆とは多くの庶民階級であり從うて新聞といふものは一般大衆即ち少數の人々よりも大ぜいの人々の爲だとばかり思ふとつたら案がい大衆の敵であり特權階級の走狗であつたりする

八月十六日の報界に新京驛前の馬車に就いての記事は何でございませうか、私共貧乏人が滿洲へ來て大連でも奉天でも新京でもハルビンでもはなはだ不便で不愉快で不滿なのは馬車に對する當局者の扱ひ方だ何者の發明發案主張か知らねども自動車に乘つて手に何も持たぬ特權屋共がブーブーと橫付けにすつのに、重い荷物を持つた一般の大ぜいの人達が雨の中を步かねば馬車にのれぬ、そんな處へ馬車をとめて、一たい誰の爲の馬車であるか、街の美化のみを考へて一般大衆の便不便を考慮に入れぬとは何事か、客あつての馬車であり、馬車屋である、馬車組合とか新京驛當局者の馬車に對する概念から匡正してかゝらねばならぬ、それを新聞はニユースだからとてたゞ報導しさへすればよいのであるか、見やうによれば提灯記事のみとしか見えぬ斯くの如き場合は互の過れるを匡し大衆本位に考案すべきであると、或は當局者に談じして正しき見解を堂々と發生してこそ正しき輿論の代表者たる新聞紙ではないか、ニユースの報導にのみ專念してゐることが往々此の種の暴論を實行に移させることゝなる、新聞たるもの夢大衆の利害を度外視しペンを動かすことなかれ、一筆新京日日新聞社に小言を呈す

商況欄

（八月廿五日後場）

株式相場

▲大連株式（短期）

品名	寄	引
五新	三五・六〇	三五・七〇
豆新	一九・六〇	一九・六〇
鈔新	一五・二〇	一五・二〇
滿鐵新	三二・八〇	三二・八〇
東新	六一・四〇	六一・四〇
二新	一	一
日鐵	九六・六〇	九六・七〇
鐘新	一	一
奉天	一〇六・四〇	一〇六・五〇

▲株式（短期）

品名	寄	引
滿取	三三・二〇	一
大新	六六・二〇	一三三・二〇
東新	九八・六〇	九八・六〇
日新	一六二・二〇	一六二・三〇
鐘新	一五七・六〇	一
五品	一七〇・〇〇	一
豆新	一三九・二〇	一
二甲	三一・九〇	一
電拓	三一・八〇	一
東興	三六・二〇	一
滿毛	六八・三〇	一
後先	一五四・三〇	一
山留	七〇・三〇	一

各地商品市況

▲橫濱生糸

	前引	後寄
現物	七七〇・〇〇	一
當限	七七〇・〇〇	一
先限	七七〇・〇〇	一

手形交換高（廿四日）

金票	四一枚	二四五・四八五・五五
鈔票	一	一
國幣	一三五枚	二一四・六四二・六〇

鮮魚小賣相場

（廿四日）百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	九六	六六
氷鯛	三七	三二
チヌ鯛	三四	二八
車エビ	一四四	…
ブリ	二四	一八
ヒラス	二八	[illegible]
マナカツオ	三〇	…

大滿鑛業測量社

鑛業出願手續、實地調查測量、外鑛業ニ關スルー切

新京特別市豐樂路四〇二　豐樂劇場前　電㈡二〇一五

進展する都市計畫（三）
近代的本格的なる哈爾濱の新計畫
＝區域總面積二六七平方粁＝

三千萬坪の事業區域と、六千萬坪の計畫區域を擁する、新京の國都建設計畫が、段々として豫期以上の速度をもつて、現に進捗しつゝあるのはいふまでもないが、過般決定公表を見るに至つた哈爾濱都市計畫は國都以外の都市計畫としてしかも相當大規模であり近代的本格的のものであることに於て、今後全滿の都邑計畫進行上に優れたる標準を示すものといふべきであらう

すなはち哈爾濱の都市計畫區域の決定については、かねて中央政府との協定によつて將來の包容人口を百萬と豫定し、密度を一人當り二五平方米（約七十五坪）とすることに內定してゐたので、結局二五〇平方粁の範圍を必要とした。そうして擴張區域は地形交通その他百般の事情を綜合して、これを松花江右岸に求めるのが適當となされ、東は國鐵拉濱線の東方一、六粁附近を界とし、西は松花江上流現在市街地西端から約七粁の線に及び、南は國鐵濱綏線の南方八粁附近に達し、北は松花江下流阿什河合流地點附近から、對岸松浦驛鐵道線を界とするもので、東西およそ一八粁、南北約二一粁、中心地點から半徑約九粁の境域に相當し、總面積約二六七平方粁となるのであるが、この中から河川敷その他不利用區域を控除すると、その利用面積は約二五〇粁となる

×　×

それから新中心地は、國鐵京濱線の顯鄉屯驛附近を選んで、此處に新らしく中央停車場を設け、その表裏を擧げて商業中心地を構成せしめ、さらに東方馬家溝河畔高燥の地に、行政の中心地を設けることに決した、そうしてこの全區域が擧げて人口飽和の狀態に到達すべき時期は、勿論產業經濟の發達變遷によつて遲速はあるが、大體において康德三十三年の見込みであるとなされてをる

また右の區域を母市の計畫區域として、さらにこれを繞らすに、幅約二粁の綠靑地帶をもつてし、此部分には特殊の建築物以外一般の建築行爲を禁止することゝなつてをりこの上なほ半徑約二五粁その面積約一八三七平方粁の範圍內において、將來必要に應じ適當の位置に衞生都市を配置し、これに向つて母市を中心として幹線街路を設けることは勿論高速鐵道または地方鐵道によつて、これが完全なる連絡をはかる筈である

×　×

そうして右の建築行爲制限については、母市計畫區域內は、勿論、外部にわたつても必要土地の全部を收得する豫定で、國有地はその拂下げを受け、關係民有地はこれを買收する方針の下に、調査が完了しての經費豫算が計上されてをる

右區域のほか、街路網計畫鐵道及び市內外の交通機關、地域制、水陸聯絡設備、上下水道施設その他一般公共施設の計畫等々が完全に樹立されてゐるばかりでなく、財政計畫また堅實に立案されてゐる（水口生）

對滿事務局へ陳情の―日滿經濟問題
筆頭は關稅關係の建議、請願

日滿經濟問題中對滿事務局に提出された陳情書は最近一ヶ年間に三十五件に達してゐるが內最も多數を占むるものは滿洲國の第三次關稅改正に關する問題にして左の如し

▲企業關係

一、羊毛工業用補助原料輸出禁止先國より除外方陳情、（滿蒙毛織）
一、工場財團法制定自由企業範圍擴大並條件緩和懇請、（哈爾濱商工會議所）
一、满鋼鐵配給に關する陳情（奉天中山鋼業所）
一、台灣產酒精の滿洲國輸入停止陳情（大同酒精）
一、企業振興整備に關する建議、（滿洲工業會）

▲職業關係

一、日滿職業紹介に關する件建議（中央社會事業協會）

▲關稅關係

一、日滿支經濟提携に關し國民政府の關稅政策に關する建議（日本商工會議所）
一、セメント課稅に付請願、（滿洲工業會）
一、第三次滿洲國關稅改正決行方請願（滿洲工業會）
一、麥酒の原料並に材料に對する輸入稅撤廢方請願（滿洲工業會）
一、綿布大天布輸入稅引下に關する請願（大阪府大尺布工業組合）
一、日本茶輸入稅低減方に關する請願（茶業組合中央會）
一、滿洲國バーター關稅引下に對する請願（日本バーター協會）
一、軋條關稅改正請願（鞍山製鐵工場地區）
一、賣藥の關稅引下の陳情、（東京藥業同業組合）
一、對滿貿易關係各組合の滿洲國關稅引下に關する建議（大阪商工會議所）
一、味淋關稅引下請願（全國味淋協會）
一、軋軌　關稅改正請願（滿洲工業會）
一、氷糖角糖稅輸取締方請願（滿洲工業會）
一、日本製煉乳關稅引下請願

（大日本製乳協會）
一、第三次關稅改正に關する陳情（遼寧實業會長）
一、關稅制度の惡用防止に付建議（滿洲工業會）

▲交通關係

一、日滿最短距離實施原則請願（日滿實業協會）
一、東邊道縱貫鐵道既成請願（既成委員會）
一、安奉線運賃に關し懇願の件（安東商工會議所）
一、新潟港第一種重要港灣編入に關する陳情（新潟商議）
一、滿洲材海港地仕向運賃低減方陳情（日滿木材協會）
一、鐵路總局の鐵道運賃問題（同上）

▲產業關係

一、日本海經路に依る滿洲移民獎勵に關し建議（日滿實業協會）
一、滿洲國有材年伐採量增加方請願（日滿木材協會）

團平船約百隻襲擊さる
熊田二等兵戰死

【安東國通】安東省下を執拗に荒し廻つてゐる匪首王鳳閣は部下三百を率ゐ鮮匪首文武境の約八十と合流、桓仁縣沙尖小商務會の團平船約百隻を襲擊すべく廿二日夜來行動を起し、一部二百は寬甸縣高嶺地附近に、他の一隊二百は蚪安縣古馬嶺附近に潛伏、機を窺つてゐたが高嶺地では目的を達せず午前十一時頃寬甸縣下漏河附で一齊に發砲したので便乘の〇〇軍第〇隊出羽特務曹長以下〇〇名及び桓仁縣治安隊長王德勝氏以下〇〇名は之に應戰、渾江を下航したが賊は追跡を止めず古馬嶺附近の潛伏匪も午後二時頃寬甸縣大川溝二叉流附近で一齊射擊を開始した爲警乘員は極力應戰一時賊を擊退後八時卅分頃渾江口に到着した、賊の損害は不詳なるも我方の損害は二等兵熊田今朝五郎君戰死、治安隊員重傷一名、輕傷一名船夫二名輕傷、團平船沈沒一隻を出した、尚重傷者は楚山同立醫院に入院加療中である

瓦房店忠魂碑の建設漸く進展
翕然！各方面の赤心蒐る

【瓦房店支局】瓦房店忠魂碑建設寄附金募集に就ては豫て具申中の處六日附全權大使より許可下附されたるを以て各係員は夫々實行に着手した、本建設は管內產を以て建設される主旨でその出材を先決す眼目となるべき萬家嶺の花崗岩の關係上本交涉につき先般中根、管野の正副委員長、三宅工事渡邊涉外松尾弘報の各常任係萬家嶺に出張吉田多田兩工務所に出材方の交涉をなしたる處二十日吉田山根の兩氏來瓦あり出材については千二三百才を原價に奉仕すべく心よく引受け尙は本碑の主眼たる高十六尺巾二尺七寸と言ふ格大なる柱石約四百圓也を吉田、多田兩工務所より自發的寄附の申込みあり又小野田セメント會社よりはセメント百袋の寄附あり尙ほこの他に前在瓦鐵道關係者の七百圓前守備隊長松井卯吉少佐の金五十圓等の寄附あり十月末日までには竣工せしむべく各係員は大童となつて居る、因に本建設は精調査の結果相當豫算を超過すべきも瓦房店前住者たる緣故者等よりぼつぼつ寄附申込の氣運あれば本建設物竣工の曉は瓦房店名物の一つとして旭山公園に雄姿を現し市民崇敬の的となるは勿論列車旅行者の一慰となるであらう

鈴木部隊の轉入將校歡迎會

【承德國通】今回の陸軍異動により鈴木部隊並に管下部隊附となつた船引參謀外各將士に對する居留民會、領事館、省公署合同主催の歡迎會は廿三日午後六時半より興麗樓に於て盛大に擧行された

土木工學科設置を請願

新興滿洲國は各部門に亘り建設發展工作の途上にあり特に滿洲國に於ては道路上下水道或ひは港灣河川護岸等幾多土木事業の完成を計る必要に迫られて居るにもかゝはらず技術者拂底と云ふ有樣で建國以來の滿洲は內地より多數の經驗者を迎つて漸く間に合せては居るものゝ尙充分と云ひ難く滿洲國將來の發展より觀るも土木技術者養成の學校必要と云はれ我國土木界に於ける最高の學術團體である社團法人土木學會では土木事業の完全なる遂行は技術者の養成にありとの見地から旅順工科大學內に土木工學科を設置すべきであると此の程廣田首相、平生文相、永田拓相其他關係官廳へ請願した

吉鐵局の新しい試み　鳩を補助通信に
◇……迅速至便を期待さる

【吉林國通】吉林鐵路局では今回夜間通信鳩を京圖線・圖佳線驛中四十三ヶ所に配置し八月下旬より夜間運行列車の補助通信に使用する事となつた、この通信を使用する事により電信電話の杜絕せる場合でも迅速に列車の狀況を知り得、その活躍が期待されて居る

北鮮關係地方　寫眞撮影取締り

【圖們國通】羅津に要塞が設けられてから、北鮮關係地方は要塞地帶として寫眞撮影に嚴重な取締りを受ける事になつた、要塞地帶は第一區、第二區、第三區に區分され、最も外廓をなす第三區線より更に外方三千五百間の區域を指してゐる

羅津要塞地帶は羅津を中心に南は淸津、北は新阿山、東は豆滿江國境に亘る一帶をその區域としてある、尙此外北鮮から間島にかけては別に會寧上三峰、圖們附近も本年六月以來陸軍省に於て空中撮影等の寫眞、繪ハガキの發賣は嚴禁されて居る

又一方ソ滿國境地帶は關東軍に於てその寫眞撮影を禁止してあり、北鮮及間島省の東綠全體は要塞地帶或は之に準ずる警戒區域となるから、旅客並に一般人も違反等の事のない樣注意して欲しいと當地憲兵隊では語つて居る

圖們驛構內の稅關檢査場を擴張

【圖們國通】國鐵のダイヤ改正に伴ひ十月一日から圖佳線にも羅津と牡丹江間に直通列車の運轉が實施されるので、圖們驛構內に於る稅關の事務も一層繁劇を加ふるものとの豫想の下に、圖們驛の日滿兩國稅關とも旅客旅具檢査場の擴張模様替えに着手する事となつた

七月中の承德驛到着貨物

【承德國通】羅進承德のバロメーター承德驛七月到着貨物左の通り（單位トン）

品目	數量
高粱	一一八
米	九二五
綿糸布	四二〇
穀物種	六四
木材	一三、二六八
石炭	六〇〇

品目	數量
魚介類	二〇〇
石油大豆油	一、三一〇
麥粉	五、一七一
セメント	二、一〇〇
生粟	三
野菜	一一二
鐵及鐵製品	一、九〇〇
紙類	五七七
食料品	八〇〇
砂糖	二五
其他	二〇、三六〇

北鮮航路四社合同　時期尙早か
＝遞信省も漸く拱手傍觀＝

日本海を中心とする日滿聯絡航路即ち北鮮三港と裏日本各港とを繫ぐ北鮮航路の繁劇は一部既報の如く現在遞信省及び朝鮮總督府の受命會社である北日本、日本海朝鮮及び島谷汽船の四社間に猛烈な競爭を見るに至つた結果右四社の不當競爭防止のため合同計畫が企圖され拓務省、朝鮮總督府、滿鐵等何れも贊意を表し遞信省も愼重研究調査し實現頗る可能と見られて居たが最近に至つて右四社の合同になる北鮮航路の充實强化は航路統制上から見れば必要且緊急とするが實際問題として各社の立場が極めてデリケートな利害關係にあり特に朝鮮郵政と他社との間に相當步み寄り困難とする點あり、假令成立するも曩に南洋航路强化のため合同成立した南洋海運の問題もあることゝこれが合同は時期尙早で何しろ受命會社である以上或種の協定をなさしめ不當競爭を嚴重に監督することが各社の發展上最も妥當であると見てゐるから本合同は當分實現不能に陷り遞信省と漸次傍觀の態度を持することゝなる模樣である

濱江省協和會分會近く結成

【ハルビン國通】協和會濱江省事務局では廿二、三兩日省聯合會を開催、今次の機構擴充に伴ふ中央よりの指示事項を訓示したが、廿三日午後四時より鐵路クラブに各官廳、特殊會社等日本人側卅餘名を招待して懇談會を催した、席上結城委員並に中央より出席の高田委員より滿洲國建國の本義と協和會の使命、五族協和の眞精神を强調して援助協力を要請、各官廳、特殊會社に於ては夫々協和會分會を設立して來る九月十五日の承認記念日を期して一大結成式を擧行する事となり一同和氣靄々裡に同六時散會した

改良增產を圖り愛護村に緬羊配付
＝總局が積極的に乘出す＝

【奉天國通】日本の濠毛不買により滿洲に於る畜產業は愈よ重要性を增し各方面で調査研究が進められ鐵路總局にたても緬羊飼育に努力を拂つてゐるが、今回各鐵路局を通じ管內愛護村に緬羊を配附その改良增產に乘り出すことゝなつた

衞生取締規則改正
總督府の方針

【京城支局】總督府警務局では最近衞生機關の擴大と共に事務輻輳を來たし從來の衞生取締規則では對應出來ざる狀態に立至つたので近く速急に之が改正を行ふことになり之れに伴ひ專任事務官一名、技師一名、技手若干名を增員近く任命することになつた、尙ほ右規則改正と共に問題になつてゐる電氣治療師、指壓治療師を按摩にするかどうかを加味して決定する筈

大連、蘇家屯間レール取替

【大連國通】滿鐵本線大連—蘇家屯間上り線路のレール取替は愈よ十二年度より繼續事業として實行すべく鐵道部では經理部に折衝する事となつたが、レール取替工事は一ケ年五十キロ乃至七十キロを實施し五ケ年乃至六ケ年を以て終る筈で、新レールは昭和製鋼所生產の百廿封度廿米軌條を使用するに決定した、尙これが經費は約一千萬圓で事業費豫算によらず特別事業として財源を別に求める事となつた爲十二年度事業費豫算には計上されて居ない

國防と婦人

新天地の女性に―　その役割は大

"第二回婦人講座"の席上で　〔一〕　河本大作氏の講演内容

左の一篇は新京婦人團體聯盟主催の"第二回婦人講座"に於て講師滿鐵理事河本大作氏が一時間半に亘つて述べられたお話の概略を掲載したものでありまして文責は無論筆者にあります

（私）が一番皆樣に聞いて頂きたいことは"日本と滿洲の關係""日本を中心とした世界の狀勢"であります、婦人講座の題と致しますはまことに固苦しいが現代日本に於ける情勢から見まして是非聞いて置いて頂きたいと思ひます國家構成の一番大事なことは何と申しましても婦人殊に母として起たれる方であります、古くから英雄豪傑と呼ばれる人の母に馬鹿がなかつたのを見てもお分りになるとほりであます

（國）家構成の重要分子は母であるといふことを深く認識されてしばらく御靜聽を煩したいと思ひます、先づ最初に日本と滿洲の關係に就て申上げます、我が日本が始つて以來國家生存を危ふくする禍はどこから來るか＝家で云へば鬼門はどこか＝と申しますといつも西北方から來てゐるものであります、それで日本の鬼門は西北方といふことになります一例を擧げますと

（昔）は朝鮮半島を通して來てゐたそうで神功皇后の三韓征伐となり下つて蒙古襲來も又西の方から來てゐるのであります、そこで日本の禍は西北方から來てゐるといふことが言へるのでありましてこれは神代から今まで變りないのであります、殊に我々の記憶に新らしい事件と致してましては日清日露の兩役があります この問題もみな朝鮮半島の問題から來てゐるのであります 日清戰爭の結果日本の侵略的でなく西北方の禍を防ぐために足場をつくつたのでありますがそれから十年後極東侵略にもへるロシアは極東に於て露骨に

（戰）備を進め遂には我に戰を挑みこゝに日露戰爭が勃發したのであります、此の戰には我々も出征したのでありますが非常に冒險な戰でありました、併し忠勇無比の將兵と國民の熱烈な力によりまして再起することが出來ぬまでロシアをやつけて大勝を博したのであります、その結果朝鮮半島の獨立南滿洲鐵道を日本に讓渡することゝなりこゝに國家の發展と國家の安康を期することが出來たのであります

白ズボンは　斯うして洗ひませう

「清秋を迎へる」　樂しい仕事です

白ズボンを洗濯するには先づ一パーセントの濃さの良質の石鹸液を作ります、これはアンモニヤを極く少量加へると尚良いと思ひます。それにぬるま湯位程度で刷毛か手でもみ洗ひをして十分水でゆすぎ出します、この時ズボンが極く汚れてゐる時には洗濯ソーダを極く少量加へた石鹸水を用ひますがア強ルカリは白セルを黄色く變へる缺點がありますから多量に使用しない樣に注意を要します。尚温度の高い事もさくべき肝要な條件でこれも亦黄色く變へる一原因です。

アイロン の温度は可成り低いものを用ひます。毛は高温に合ふとすぐ變色します。若し漂白しなければならないものなら「ハイドロサルファイトロンガリット」の一%の溶液を作つてこの中に二、三十分侵します。取り出して醋酸の稀薄液に暫時侵しその後水洗ひして乾燥させます。又漂白粉を用ひて晒しますとかへつて黄色になり且つ質が弱くなつて穴があくやうになりますから注意しなければなりません。

ラヂオ

けふの番組

（M・T・C・Y　新京放送局）　廿六日（水曜日）

朝

六・〇〇　建國體操
六・二〇　ラヂオ體操（東京）
六・四〇　初等滿洲語講座（大連）　講師　秩父固太郎
七・〇〇　初等日本語講座（奉天）　講師　近藤喜助
七・二〇　氣象通報（大連）
引續き　朝の音樂（大連）
八・三〇　經濟市況（東京）
九・〇〇　早晨演奏（奉天）
九・二〇　料理獻立（大連）
九・四〇　經濟市況（大連）
一〇・〇〇　家庭講座（大連）　短歌の味ひ方と作り方（三）　甲斐水棹
一〇・二五　家庭メモ
一〇・三五　經濟市況（大連）
一〇・四〇　經濟市況（東京）
一〇・五九　時報（東京）
一一・四〇　ニュース（東京、新京）

晝

〇・〇一　經濟市況（大連、新京）
〇・二〇　晝の演藝（レコード）
〇・四〇　建國體操
一・〇〇　白大演藝（大連）　京津太鼓　華容道　唱　王玉霞　絃子　劉紹奎　南胡　徐月亭
一・二〇　ニュース（滿語）
一・三〇　成人講座（哈爾濱）　時的分析（三）　濱江省教育廳教育股長　馮文蔚
一・五〇　下午演奏
二・〇〇　經濟市況（大連）
引續き　日用品値段（滿語）
二・五〇　經濟市況（東京）
三・〇〇　ニュース（東京、新京）
三・三〇　經濟市況（大連）
四・三〇　ニュース、演藝（鮮語）
四・五〇　ニュース（英語）
五・〇〇　子供の時間（大連）　ピョンちゃんの一日　伴野政江　池原八重子
五・二〇　コドモの新聞（大連）
五・二五　氣象通報・番組豫告

夜

六・〇〇　ニュース（東京）
六・二〇　今晩の番組、官廳公示
六・二五　政府公報（滿語）
六・三〇　國民の時間（哈爾濱）
七・〇〇　義太夫（大阪）　新作神崎東下り　丁東詞庵作詞　鶴澤友次郎作曲　神崎與五郎則保　竹本伊達太夫　馬子丑五郎　竹本相生太夫　茶店の婆　竹本長尾太夫　三味線　鶴澤友次郎　ツレ　鶴澤友平
七・三五　ギター獨奏（東京）　保坂益子　一、ゆるやかな圓舞曲　カノ作曲　二、アンダント　ソール作曲　三、前奏曲　トローバ作曲
七・四五　小唄（東京）　一、逢うて別れて　二、せかれせかれて　三、秋風さそふ　唄　市川三升　四、心でとめて　唄　遠藤爲春　五、やぼな屋敷　六、四條の橋　七、お互ひに　唄　中村吉右衛門　三味線　佐橋章子　同　岡田米子
八・〇〇　連續講談（東京）　柳澤昇進錄（終席）　神田伯龍
八・三〇　時報・ニュース
引續き　ニュース（東京）
八・四五　ニュース、經濟市況　氣象通報、番組豫告（滿語）
九・〇〇　舊劇　三星壽位　協和國劇社票友（大連）
九・三〇　戯劇　鴻鸞喜　黎明國劇研究社々員
一〇・〇〇　北滿の時間（哈爾濱）

今晩が終席　"柳澤昇進錄"

後八・〇〇　東京より　神田伯龍さんの連續講談

五代將軍綱吉は女を遠ざけられたのでお世繼ぎがなかつた。これを心配された桂昌院は牧野備後守へ御相談、牧野より柳澤へ相談があつた。彌太郎は苦心の末御休息として采女の方を差し上げた、これがよい結果を生んで將軍と御臺所との間が圓滿になり、御臺所は間もなく姬君を生んだ、と采女の方は若君を生んだ、ところがその後若君德松及び愛妾采女の方が少しの間に死んでしまつた。一時に愛する者を失つた、綱吉は鬱々として日を泣つた。當時お側御用人と出仕してゐた柳澤は將軍の氣持を察して采女に代る女性を八方に探し求めた、やがて柳澤は松平安藝守の浪人荒濱次郎右衛門の娘お高を養女にもらひうけ、采女の方の代りとして將軍の御手許へ奉公に差上げた。これが出世の緒となつて柳澤彌太郎は終ひに大和郡山十七萬石の城主となるやうになつた。

ギターの獨奏

後七・三五　東京より　保坂益子

一、ゆるやかな圓舞曲　カノ作曲
テンポのゆるやかなやさしみのこもつた美しい圓舞曲

二、アンダント　ソール作曲
ソール作品十一番の十二のメヌエット舞曲中の優雅な小品

三、前奏曲　トローバ作曲
此の作曲者はセゴビア師に多くの佳曲を捧げてゐる。この曲も師によつて演奏され、レコードを通じて我が國にも親しまれてゐる。簡素な主題がくりかへされてギター特有の典雅な氣品に滿ちた南國の香り高い曲。

藝界錚々連の隱藝　小唄の競演七曲

三升・吉右衛門らが唄ふ

後七・四五　東京より

今晩七時、四十五分からはAKの珍らしい試みとして梨園の巨頭中村吉右衛門、市川三升さんこれに遠藤爲春さんを加へた三人が何れも畠違ひの粋な隱藝小唄を競演する。淸秋の一夜、藝道に精進して倦まぬ此の人達の餘技もまた染々として人々の胸を打つものがあらう

三味線……佐橋章子
同……岡田米子

市川三升

一、待つ夜かさねて
本調子「待つ夜重ねて月影もいつしかほそる戀のやせ男心のつれなさに逢へぬもつれを糸萩にいつきゆるとも白露のかわく間もなき雨の袖

二、せかれせかれて
本調子「せかれせかれ〱てくよ〱暮すえたまに逢ふ夜はせかれては逢ひあふてせかれて別れともない明けの鐘

遠藤爲春

一、秋風さそふ
本調子「秋風誘ふ葛の葉に野邊の松蟲うらみつゝ招く尾花の袖見れば露の玉菊月の影飯倉片町おかめ團子評判ぢや

二、心でとめて
三下り「こゝろでとめて歸す夜は可愛、お方のためにもなろうと泣いて別れて又御見もじ豬牙の蒲團も夜露にぬれて後は物憂き一人寢するもこゝが苦界のまア中かいな

中村吉右衛門

一、四條の橋
三下り「四條の橋から灯が一つ見ゆるあれは二軒茶屋の灯か圓山の灯かエ、そうぢやえエ、そうじやいな

二、野暮な屋敷
本調子「野暮な屋敷の大小捨てゝ腰も身輕な町住居よい〱よいやさ

三、お互ひに
本調子「お互ひに知らぬが花よ世間の人に知れりや二人が身のつまり、あくまでお前に情立てゝほれたが無理かへしよんがいなほれたがむりかえ藤八五文でこれや奇妙

義太夫

新作「神崎東下り」

後七・〇〇大阪より　丁東詞庵・作詞　鶴澤友次郎・作曲

浄るり　竹本伊達太夫外
三味線　鶴澤友次郎外

「實にや心にも、あらで浮世をかくれ里、ひめたる思ひ山科より、大石良雄がはからひとて東に下る神崎與五郎、不慮の最後をとげられし、主君のかたきかた時も、忘れがたなのつか袋、旅にしあればつつしみの、とまり重ぬる枕にも吉良上野の首あげし、夢のさいさき吉原や、沼津もすぎていつしかと、こゝは三島の宿はづれ、甘酒茶屋のおもてのかた、ゆるせ、暫く休息と入る店先、おいでなさりませお疲れでござりましよ、早速ながらお茶一つ、名物の甘酒もござります、お宗旨ちがひなら極上のもろはく、お肴には着のてりやき、鳥の吸物、古わらんじの馬糞あえまで何でも用意致しまする口がる氣がるな茶店婆、賣るあいきやうに思はずも、心の紐もうちとけて、氣をつかうてくりやるなみども所望は澁茶一ばい、床几に腰かけ目のあたり、開けし海を三保ヶ崎つゞく翠は松原の、松といふだに思ひ出す、うらみは深き松の間やつきせぬ君が妄執を晴しまつるも今暫し、口に出さねど氣は氣は勇み立つや鷗のむれむれて、沖をゆきさの眞帆片帆、ながむるわれが身の末は、いづれ生命をすて小舟つひにかへらぬ旅路ぞと、思へば名殘りおしまれて、見かへる空に富士の嶺、雪の姿のけだかさよ「ああ絶景かな」心地よきながめやと、あかず見守る耳もとに、モシお侍さんえ、頼まれて下んせと、わめくを見れば荒くれた、言葉つきなら面つきなら一くせありげな奴風破れ布子の糸目さへ、きれてふらつく足腰は、生醉とこそウェーイ、知られけれ「そちは何者ぢや「何者とはお見かけ通り、いたつてぢゞむながさつ者渡世は馬方、名は馬喰の丑五郎といふて界隈でちつとばかり賣れた男でござんすわい「ハテその馬方の丑五郎が、みどもに何の用事「何の用事とは知れたこと、馬方が晝賣りに出たためしもなければ、甘酒商ふた話もきかず、馬方の用は大がい知れた馬のこと、旦那のつて下んせ「あら用はないみどもは生來馬にのれぬか、それなら折角ながきらひぢや「ナニ、馬がきらひ、ハテナ、侍ともあろうものが馬がきらひとは、ウム、、、なるほどなア、見うけるところ生白い糸瓜のやうなよい男、びなりしやなりの物腰は、役者のやうな、へ、へ、へ、へ、役者のやうな、な、お優男それで馬が怖いとは、お道理々々々オ、馬が怖けりや駕にさんせ、唐天笠まで居ねむりしてゆける、よい駕屋をわしがせわするほどに、ちよつとまつてゐやんせ「あこれまちやれ、みどもは馬もきらいなら駕もきらい、親から貰うたこの足が、何よりすきな乘物ぞと、とりあひもせぬ與五郎に、なほからみつく丑五郎、それほどきらひなものなら、むりにすすめはせぬがその代り、ナア旦那酒手はしつかり頼みます「これは異なこと、のらぬ馬や駕に酒手出すとは開闢以來ない作法、オットさうはにがさぬぞ。

恐るべき人類の敵　結核を撲滅せよ

"日本の不安"を何んとするか　（四）

新鮮な風氣が何れだけあなたの心身を爽快ならしむかはよく御存じの筈なのに、何故戸を閉ぢ勝ちになさるのですか？

ほこりが？・・強い風でも吹かざる限り御心配は御無用です、網戸もありませう、マスクもありませうそのほこりより家人の吐き出す炭酸瓦斯に汚れた空氣をいとうべきです窓や障子は努めて開放して外氣中に靜臥する習慣をつけませう、夏は勿論のこと多でも、あなたの肉體が寒さを訴へるなら毛布や湯婆があるではありませんか？白雪皚々とした中に、或は零下二〇度三〇度の空氣の中に平然と大氣療法を續けて行く療養道の鬪士は澤山あります

食餌に榮養價の多いものに嗜好品を斟酌して野菜、肉類穀類、果物、ビイタミン、含有品等を適宜に混合して、よく咀嚼して、感謝して戴きませう、然し美食をと言ふのではありません、胃腸が丈夫なら日常の御惣菜で偏食を愼めば相當の榮養は取れませう、鯛の刺身はなくも乾鱈を頭からかじつて結構、鷄のさゝみでなくも骨附きの煮込み又結構なものではありませんか

五月の青葉に温泉をしのび直夏の太陽に海邊の赤旗を想ふとは唯の詩でしたか？

◇…療養の部屋は常に日光に見舞はれて欲しいものです、然し日光浴は醫師の命令に從つて欲しい、時として喀血を誘發したり熱發したりして病勢を惡化することがあります

風邪を引かないやうにしませう、風邪はよく病氣の再發や増惡の直接原因となるものです、空氣浴、乾燥摩擦、時に冷水摩擦などによつて皮膚を鍛練して風邪を出來るだけ豫防したいものです

運動は其の病狀に依つて種々の段階があり許される範圍があります、決して效をあせつて無謀とたり過勞に陷つてはなりません、肺結核と診斷された昭和の怪力士捻鐵坊は十八貫の鐵棒を振廻はすやうになつたのも、一日數分の散歩から鍛へ上げられたのだと教へて居ます、療養の眞道を歩いたと言ふべきでせう、入浴、讀書、談話なども亦醫師とよく相談すべきです

咳は意志の力で出さないやうに或程度迄訓練出來ますから成可く押へて下さい然し血液の出る時は靜かに喀出して心を落付け靜臥して居りませう、喀血は皆さんの考へられる程恐ろしいものでも、又病勢の進んだものに出ると決つたものでもないのです

かうした療養への種々な要素は、あなたの匿さゞる醫師への相談によつて樣々な方向より組合はされてあなたに最も都合のよい方針が樹てられ一日の療養時間割りが作製されます、傷付かれた身の御不幸には心から同情致しますけれど、と言つて狼狽して居る時ではないのです、前にも述べた樣に結核は治り易い病氣ですから自重して正しい療養の時間割に從つて不撓不屈規律正しく理想的な養生生活に入りませう、治療への光明は其處から輝きはじめることでせう

假令身は病魔に襲はれたとして出來るだけ注意して同病者の現はれないやうに致しませう、それは眞の肉身への愛情であり、家族への思ひやりであり、社會への努めです

咳はつとめておさえるやうにしませう、已むを得なければ紙やハンカチで口鼻を掩つて下さい、無益な大咳嗽をするものは病氣の治りが惡いとさへ言はれて居ます、痰は必ず壺にするか紙に取つて消毒して下さい、同時に又手指はよく洗つて常に清潔に保ちませう、菌は斯うした注意によつて撒き散らされずに濟む事になります

病人には家中で一番日光のよく射す部屋を選んでやりませう、同じ部屋に幾人も寢るのでしたら先づ乳兒や小供、年若い者は一番遠方に離して寢かせませう、若し病人が理解してくれるなら其の間に屏風等を立てるのも結構です

然し病人は淋しいものです、兎もすれば氣分も滅入り勝ちになり棄鉢になり勝ちで、神經が昂奮して氣難かしくなるものですけれど、家族の方々はどうか靜かな

◇…柔い優しい温かい心持で慰め勞り勵げましてあげて下さい、軈てそれ等の努力が報ひられて一家團欒の朗らかな喜びが訪れてくれます

痰壺の中には三十倍のリゾール液が二十倍位の石炭酸水を入れて置き三、四時間したら便所に捨てませう、或は痰を紙に取らして一個所に集めて置き燒き捨てゝも結構です

寢具は清潔にして常に日光に晒して下さい直射日光は結核菌を殺す非常な強い武器です洗濯物は三十倍のリゾール液に三時間位浸してからよく濯いで置きませう、病室の掃除はハタキを使はず消毒液で拭き取るやうにして下さい、病人の食器は一定のものを決めて置き使用した度毎に煮沸して消毒して置きます

かうして病人も家族も揃つて力を合せて全快の道へ進みませう

出生

▲本籍富山縣現住所市内錦町二丁目十番地松尾留治氏長男有三さん十四日出生
▲本籍福岡縣現住所市内錦町三丁目第四錦ビル森光雄氏息女道子さん十三日出生
▲本籍福島縣現住所市内室町二丁目二番地田中ビル二〇一小林善吉氏長男睦明さん七月一日出生
▲本籍新潟縣現住所市内吉野町三丁目三番地菊地傳之助氏長男新太郎さん十四日出生
▲本籍福岡縣現住所市内千島町一丁目九番地安部新一郎氏長女路子さん九日出生
▲本籍岩手縣現住所市内老松町二丁目十八村上榮郎氏息女智子さん十三日出生

死亡

▲本籍山形縣現住所市内彌生町一丁目十番地十號ノ一神保源助氏（五十四才）二十一日死亡

文藝

敢當支那教本
―『雜談支那』續後感―

徐　晃陽

石敢當氏の『雜談支那』が漸く一本となつて世に出た。『月刊滿洲』の愛讀者たる人々には、はやくから待望されてゐたものである。

雜談――この言葉は、雜學といつた聯想から卑俗で分散的なものを感ぜしめるが、この『雜談支那』は總じてそのやうなものではない、廣くて深いもちやらの知識がここでは整然と統一され、はつきりと方向づけられてゐるからである。

1色の話にはじまつて99スレッカラシに至るまで、ここでは支那の社會相が率直に多彩に、何の蔽ふ所も無く摘發されてゐる。しかもその間に、たとへば「排日」の項に於いて、日本の歐米追從が責められる。同文同種を叫び亞細亞主義を說いても、事實日本は歐米の對支侵略策に追從してこれを裏切つたと言ふのである。

「歐米追從に至つては痛恨骨に徹すべき日本の大罪惡である。これさへ無かつたらたとへ他の原因により「日本は生意氣だ」といふ觀念は存在するとしても、今日の如く甚だしき排日思想は發生しなかつたであらう。世人は支那の以夷征夷策を說き、歐米の爲にする煽動を云ふが、何がさうさせたかと云へば要するに日本の態度が、支那をしてさうすることを適當と思はしめたものに外ならない。歐米の煽動云々に至つては日本自身の他力本願性を暴露する以外の何物でもない、筆者は玆に過去の對支外交史を贅述する餘裕を持たないが徹頭徹尾、日本の不德と、罪過に依つて支那の排日思想は激化されたと斷ぜざるを得ない」（八頁）といふのがそれである。

「滿洲事變後、滿洲に於ける一般日本人の對滿洲國支那人に對する觀念態度は、幾多憂慮すべき點がある、形の上の建設工作は着々として進められて居ることを認め得るが、眞の建設工作明治天皇の勅語に仰せられた「德を樹つること」に對して、深き考慮を拂ふものが果して幾人あるか、顧みて慄然たらざるを得ない」（三十三頁）

斯うした言葉がところどころに挾まれてゐる、それは泰然と構へた著者の眼、頭腦が實は鋭く批判の鞭をわれらに向つて鳴らしてゐることを知らせる。

が、堅い方面ばかり引いてゐては、この一冊を紹介するのに不充分たらざるを得ぬであらう。インデックスを見てもわかるやうに「賣笑」「女」「男女」「斷髮」「美人局」「婦人問題」「好色」「貞操」「遊廓」「女招待」などなどの各項は、その方面についても詳細の知識―知識以上の心得べき事項をぶちまけてゐる　それらの一々についてこゝに書き寫すよりも、一本を取つてぜひ一讀すべきだと筆者は在滿邦人の全部に奬めたい。讀後自らうなづく所が多々あることを信ずる。敢へて支那學教科書に當るとなす所以である。（四六判一七九頁、月刊滿洲社、一圓）

蝗姑の戲〔上〕
新秋隨筆

松村冬木

雲の動きを見てゐると、既に秋が地上にもやつて來たことを感ずる。

日本では氣候風土の關係から、之が秋だとはつきり捉めるものは至つて少ない。例ば入道雲がゆう〳〵と海を壓して、河童連中が跳廻はつてゐる八月の最中に海面を傳つて吹き寄せる風が、砂濱に續く芋畑の葉を撫でゝ行くことがあれば初秋の感興がふと湧く位のものだ。

そこへ行くと、滿洲の秋は明確にやつて來る。八月も中頃になれば例の大驟雨が、二三日續けざまに降つて、雨後の涼風を送つて呉れるのだが此の風ははつきり秋を持つて來る。夜などはどてらが飛出す情景だ。地上に微妙な變化の乏しい滿洲では、蒼空の變化や雲のたゞずまいに依つて四季のけじめを感ずる度合が非常に深いやうに思つて居る花が咲くといへば夏草も秋草も一度に茂るし、蟲が出たと思へば夏蟲も秋蟲も一緒になつてそこら中を騷ぎ廻る賑さで、却つて草花や鳥蟲の微妙な生態に應接するの遑がないのだと思ふ。滿洲の氣候なり風物なりが、非常な激しい變化の故に、歌にも句にもならない天地だと思はれてゐることは、そう思ふ者の自然に對する認識の淺さを曝け出すだけのものだ。尤も私達の周圍には鐵筋コンクリートや煉瓦の建物と石疊と、そして幾何かの薪飼の資との爲めに身動きの出來ない現實に直面して苧の葉もなければ勿論風を樂む海もありはしない。其處で大空の束縛も統制もない自由なたゞずまいに、無限の變化を求め、雲を卷き雨を吹く風の微妙さなり理法なりを感ずるより致仕方あるまい。大陸的と一口に片付けられ紹介された滿洲の氣候風物の中から特殊の微妙な變化を掘出す努力は、今の私達に課せられた大きな使命の一つとも思はれる。

雲にとどくやうな森でも、大空林でもが近くにあれば、其の氣はおのづから地上に其の微妙さを傳へて呉れるだろうが、滿洲なり、少くとも新京なりでは、到底斯樣な有難味を享けることは不可能なことだ。夏中暑さを喞ち、冬中寒さに脅されることも人情ではあらうがも少し森なり林なりがあれば余程感情のゆとりは出て來るかと思ふ。

學藝消息

△七月六日發會式を行つた科學ペンクラブの雜誌「科學ペン」は九月十日頃創刊の豫定、なほ十月には科學映畫と戲曲「野口英世」を上演する筈

△文學界で池谷賞制定　從來「文學界賞」を出してゐた同誌では更に池谷信三郎を記念する賞金制を設ける由

△茅盾の小說日譯　現代中國文壇の雄たる茅盾氏の長篇小說は小田嶽夫氏譯によつて第一書房から近刊

爆擊機
青年無氣力
―或る座談會記事―

滿鐵社員會の『協和』（八月十五日號）に「今日及び明日の靑年を語る座談會」といふ一頁の記錄が載つてゐる。最初に「植民地文學の見通」といふ主題で論ぜられてゐるのは心强いがCといふ人の「小說を書いてゐますが滿洲では××關係から當分小說は發表されませんし」といふ言葉は悆りに勇氣の無さ過ぎる言ひ方であらう。××といふのは何の積りか知らないがおほよその見當はつく。そんな勇氣のない態度だからGといふ人の「鄕土文學といふ風に解釋すれば困難ではないのです」といふ俗說や、H氏の「滿洲のホールや滿洲ゴロを描いたものが植民地文學と解されて居ませんか」といふアヤフヤな問ひが生れるのである。

もつとも映畫を論じ、音樂を說き、美術を語り、スポーツや釣にも及んだ賑かな座談會ではあつたらしい。その記錄はいかにも上衣を脫いで上等の椅子に寄りかかつて冷し紅茶を麥稈で吸ひながら生れ出たものらしい生彩のないものだつた。（斬秋風）

官場現形記（159）

李寶嘉作　大内隆雄譯

＝第十二の七回＝

胡華若は早速出帆するやうに言ひ付けた。船の者は

「いま夜中にはうまく走らんのです。船を出した所でとても多くは行けません、それよりも夜明け近くになつて月が出て潮が寄せてから出掛ける方がいいです、潮水の勢ひに乘つてひと息にずつと遠くまで行けます、走るのも早いし男たちも力がはぶけます、兩方便を得るわけではありませんか？」

と言ふ。船にゐた差官が這入つて來てその話を傳へた。胡華若はそれには何も言ふこともなく、差官は退いて行つた

元來、この錢塘江には、江山船と呼ぶ專門に官吏の用を承はる一種の大きな船があつたのである。その船の女の兒や女房たちは、一人一人脂粉を擦りつけ、花朶を挿み帶び平時無事な時には每日船の上に王孫公子たちを引つ張り込んで遊びの相手になつたものである。一旦官命で官吏が乘り込めば彼女たちは、船室に伺候した、この船では、これらの女たちを「招牌主」と呼んだものである、蓋し生きてゐる看板であつて、お客さんを招き寄せるといふ意味に外ならなかつた。この種の船は從來專ら官吏をのみ乘せ貨物は積まなかつたものである。それから貨物を積める船があつた。その船室は若干深かつたが、船室に於けるやり方は「江山船」と同樣であつた。それは「菱白船」と呼ばれてゐた。この外、どちらにも使へる義鳥船といふのがあつたこの義鳥船は客も乘せるし貨物も積んだ、ただ伺候する女がゐなかつただけである。

この時、胡統領の手下の兵丁が乘り込んだのは全部民船であつた。彼は自分が安樂である事を欲し、ために特に一隻の江山船を縣の方で用意させた。縣では、彼に隨員がゐる事だし、一隻では足らぬと見て、二隻の菱白船を出したのだつた。胡統領が乘り込んだのは、江山船であつた。周、黃、文の三人の隨員、それに胡統領の隨員二人、計五人は二隻の菱白船に分乘した。

この江山船の名は、或る人に言はせれば又別に「九姓漁船」とも言ふのださうである　それは前朝の朱洪武が天下を得たとき、陳友諒一派の家族たちを悉く船に乘せて官妓のやうにしてしまつた。それで現在船にゐる連中は、やはり陳友諒一派の者の子孫であつて別の人間は乘り得ないといふ話である。

閑話休題。さて當日、胡華若が江山船に乘り、各隨員がそれぞれ落ち着いてから、船の看板女が一碗の燕菜を捧げてやつて來た。胡統領は久しく江頭に在り、遊ぶ事には慣れてゐた。船に乘つてから使ふのは皇上家の錢である。好い氣持で思ふまゝに使ふ、一應の規矩やるべきは悉くやつた、何もそれを一々書き記す要はあるまい。

なは三人の隨員、二人の賓は、二隻の菱白船に分れ乘り込んだ。五人のうち、仲仲省は家族を杭州に置いてゐた、王仲循といふ幕賓は齡も老けてゐたがひどい阿片喫みであつた、晝喫ひ出したら晩まで、夜やり出したら夜が明けるまで阿片をやつてゐる。女遊びをする時間なんか無いのであつた。だからこの二人については別に言ふことも無いわけだつた。

（つゞく）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯部宛一部御寄附相成度（係）

△滿鐵調査月報（八月號）松井義夫氏の「一滿洲農村に於ける土地課稅」は梨樹縣裴家油房實態調査の結果について述べ村公課最も重く縣稅、國稅がこれに次いでゐる事實を擧げて七四％が金納であり相當大きな負擔となつてゐることを示す　三輪武氏の「張家口を中心とする流通機構に就て」はその土地に於ける漢人資本の役割に續き取引機關とその各種商品取引の行程を分析してゐる、鈴江言一氏の「戰爭前の鴉片開國事情並東印度會社關係に就て」廣瀬進氏「在滿鮮農の社會的條件」福島三好氏の「滿洲國土地制度の現狀と土地政策」等好資料である（滿鐵資料課、八十錢）

△滿洲鑛業協會會報（八月號）洪中佐講演の「鑛業と治安」土橋貞敏氏「滿洲炭鑛株式會社の現況」工藤重之氏の「滿洲鑛業開發株式會社の現況」等を收め近況を知るに便である、法規、豐富な鑛業時報欄、協會記事等（新京興安胡同、滿洲鑛業協會、三角）

△精軍（八月十七日號）「第一軍管區統帥三大方針」張同仁「精軍主義下之管見」その他軍事關係のニュースを盛つた滿文週刊（軍政部軍事調査部）

△臨時ローマ字調査會の經過（宮崎靜二著）「今にして見れば臨時ローマ字調査會と云ふ會は少しも正しく物事を見やうとしなかつた會であつた」と同會の案に對し不滿の理由を詳細に述べたもの「ローマ字」の臨時增刊である（菊判七四頁、東京市麴町丸ノ内三丁目、ローマ字ひろめ會、四十錢）

綜合ホルモン含有 最近製造

クラブ美身クリーム

肌の滋養となり皮膚を清淨美化する

この部分は、皺や小じわが出來る所ですが、クラブ乳液又は藥用クラブ美身クリームをお使ひ下さい！ホルモンの作用でサツパリとされます。

この部分は白粉のツキにくい所ですが、白粉下に一番よいクラブ美身クリームの上に、ツキのよいクラブはき白粉をおつけになれば、決してお化粧崩れがせず永持ちします。

ホルモンで肌が若返る

クラブ美身クリームをお使ひになれば地肌から若返つて、彈力のある血色のよい肌になります。效力の強い綜合ホルモンが直接肌から吸收されて榮養となり皮膚の細胞組織を根本から建て直すからです。

肌の殺菌保護をもする

クラブ美身クリームは、更に皮膚美養料數種を配合してゐますから、日ヤケやアレを防ぎ、目に見えて美しい健康な肌にします。又、皮膚の殺菌清淨作用をしてソバカスやニキビやシミ等を除き、肌を保護します。

白粉がよくつき永持する

クラブ美身クリームを、白粉下に使ひますと、特に粉のクラブはき白粉がよくツキ永持ちして、夏でも一日お化粧崩れが致しません。初めにクラブ乳液をお使ひになれば肌を清淨にとゝのへます。

さらくしてベトつかない

クラブ美身クリームは、つけた後が不愉快にベトつかずさつぱりして、ヒゲ剃後にも好適です。殊にその匂ひのよさ！ クラブ美身クリームこそ榮養・白粉下として一日も手離せない女性の必需品です。

クラブ美身クリーム 二五セン・三五セン・四五セン・八五セン

強度綜合ホルモン配合の藥用クラブ美身クリーム（一圓七〇セン）は特に著しい藥理的效果があります。

ホルモンは肌の滋養劑です

若い女性にも 健康と美容上ホルモンが必要！

「女性は二十歳の聲を聞くと、知らずくの中に、肌に彈力がなくなり皺やたるみが出來てくる……之は皮膚の細胞組織が自然に衰へて來るからで、ホルモンを補給して、肌の內部に滋養を與へるやうにすれば、いつ迄も美しい血色のよい健康な肌を保つことが出來る……」とホルモンの權威者が申されます。

ホルモンの補給には綜合ホルモン配合のクラブ美身クリームやクラブ乳液をお使ひになるのが一番です。この綜合ホルモンは今迄の女性ホルモンより、五、六倍效力の強い卵胞ホルモンを主成分とし、皮膚より吸收されて滋養となり皮膚の細胞組織を建て直しますから、若い方の肌は一層艶々しく健康になり、小じわや弛緩などのある方は自然にされて、肌に彈力をとり返すのです。

之は純粹なホルモンで始めて出來る事で他の一時的な榮養料ではこうはいきません。

クラブ乳液 六〇セン

強度ホルモン含有 藥用クラブ美身クリーム 一圓七〇セン

クラブ美身クリーム

ホルモン化粧水

日章旗を先頭に 東京少年團來京

〝ようこそ〟〝御健闘を祝す〟 堅き握手に永遠の友誼交驩

在滿皇軍慰問と日滿少年團交驩のため渡滿の東京聯合少年團在滿皇軍慰問並見學派遣團名譽團長子爵三島通陽子以下三十二名は二十五日午後三時四十分着京濱線列車で哈爾濱から來京した、驛頭には新京日本少年團長武田胤雄氏滿洲國童子團聯盟廣屋理事、日本少年團竹下主事其他日滿關係者多數の出迎へあり三等車から降り立つた一行は元氣潑溂として出迎への人々と三指の禮を交はし日章旗を先頭に驛前廣場に到り歡迎の日本少年團、滿洲國童子團約五百名に對し米本團長一場の挨拶を述べそれより隊伍堂々樂隊の音も勇ましく中央通りを行進新京神社に參拜終つて境内に於て新京少年團特別市童子團主催の交驩會を開催した、午後四時三十分より日滿少年團約五百名は國旗掲揚塔に向つて凹字型に

整列

すれば派遣團員入場國旗塔の下に東面して整列全員敬禮の裡に日滿國旗は日本少年團滿洲國童子團代表者の手にてポール高くスル〳〵と掲揚されれば派遣團代表と日本少年團代表は會場の中央に進み〝ようこそ〟〝御健闘を祝す〟とがつちりと堅き握手が交はされついで日滿親善を永遠に契る派遣團代表と特別市童子團代表の手と手がしつかりと握られしばし感激にうちふるへる、場内寂として聲なく正に劇的のシーンである、かくて滿洲國童子團聯盟理事長張燕卿氏感激にみちた歡迎の辭を述べ特別市童子團代表韓雲階氏流暢な日本語で

熱誠

あふれる挨拶を述べ、新京日本少年團代表武田胤雄氏はるばる來訪された派遣團の勞を謝し日で見、手で觸れ、足で履んだその儘を日本の少年少女諸君に傳へられ滿洲國に對し永遠に絶大の御後援あらんことを希ふむね挨拶をなし以上に對し三島名譽團長衷心から感謝の意を表し米本團長より張燕卿に對し東京聯合少年團長手塚虎太郎氏よりのメッセーヂを傳達し最後に武田團長の發聲で派遣團の彌榮を三唱、三島名譽團長の發聲にて新京日本少年團滿洲國童子團の彌榮を三唱して午後五時十分閉會した、なほ派遣團一行は交驩會終了後忠靈塔に

參拜

滿洲護國の英靈に感謝を棒げ三島子は國都ホテルへ其他一行は松屋新館に投宿、旅の疲れを休め廿六日廿七日の兩日滯在し皇軍慰問各機關見學をなし二十八日午前七時二十分吉林へ向つて出發する

（寫眞は新京神社に於る派遣團代表と滿洲國童子團代表との堅き握手）

三島團長語る

名譽團長三島子爵は語る

われ〳〵は在滿皇軍の慰問と昨年來訪された滿洲國童子團の答禮を兼ねかた〴〵まゐりました一行卅二名中には本庄將軍の姪御さんを始め五名の少女班も加はつてゐますが東京を出發してからずつと汽車は三等で通してゐますがみんな至つて元氣ですチチハルでは河村〇〇團長を訪問して東京市長からのメッセーヂを傳へ東京の各學校兒童の慰問文を贈呈し衛戍病院では一人〳〵を慰問しましたがみな涙を流して喜んでくれました

派遣團一行氏名

派遣團一行の氏名は左の通りである

▲名譽團長子爵三島通陽▲團長米本卯吉▲副團長綾井樹▲團附糟谷磯平▲隊長葛岡吉之助▲副隊長戸田和夫▲副隊長本庄俊輔▲隊附村野喜十▲少年班▲班長阿部博、次長山田利雄、班員宮本知雄、井下清、川浩一▲青年班▲班長小島進▲次長川名正夫▲班員磯部文藏、宮本知遠、鈴木隆男、高橋四郎治▲指導班▲班長加藤喜勝▲次長千葉啓次郎▲班員早川修郎、杜澤純海、井下田喜一、中江祖太郎▲少女班▲班長米本むら江、本庄あや子、三島昌子、藤村喜惠、三島謹子

赤十字新京支部總會 打合會開催

來る十月六日社長德川家達公及中川副社長等を迎へて盛大に開催される日本赤十字社新京支部總會につきこれが準備打合會は二十五日午後一時半から記念公會堂第一集會室に於て支部長中野總領事代理以下日滿の同社參與、委員等約百名出席裡に開催せられた、定刻中野支部長一場の挨拶を述べ續いて主幹中地龜太郎氏から少年赤十字團結成及び總會開催につき概略説明あつてあらかじめ支部に於て編成した總會役員擔任別を諮つたところ滿場一致可決し委員長中野高一氏以下總務、庶務、設備、接待、警備、救護、少年部の各部に約二百名の委員を夫々割當委囑し後日各部別に協議會を開催擔任細目を決定する事となり二時半中野支部長の挨拶ありて散會した

敷島高女 夏季課題作品展

敷島女學校では來る廿八日同校講堂において夏季休暇中における生徒課題作品の展覽會を開催す

初運轉の遊覽バス 無料で試乘さす

但し、五十名を限り抽籤で 本社後援 來る三十日決行

國都觀光事業のトップを切つて新京遊覽バスの運轉はいよ〳〵九月一日から開始されるが、これに先立ち新京交通會社では本社後援の下に無料招待試乘會を三十日華々しく擧行することになつた、同招待會は一般市民から試乘希望者を受付け、定員五十名に限つて無料で試乘せしめやうといふので、申込方法その他は大體左の如く申込者超過の場合は抽籤によつて決めることになつてゐる

遊覽バス試乘招待會規定

主催 新京交通會社

後援 新京日日新聞社

△申込方法 往復葉書で申込むこと、但し一枚一人限り

△申込場所 新京豐樂路一〇一新京交通會社總務課宛

△申込締切 八月二十七日中本社着を以て有効とす

△定員五十名 申込者定員を超過の場合は抽籤とし當籤者には復信を以て通知す

△運轉期 八月三十日午前九時新京驛前交通會社營業所發、午後一時歸着

△其他 復信を以て乘車券に替へます

國都觀光事業 愈よ第一歩へ

新京觀光協會成る

新京觀光協會創立總會は豫定の通り二十五日午後五時から記念公會堂大食堂で開催された、韓特別市長、石崎商議會頭、武田地方事務所長、宇山市財務處長其他八十余名出席議長に石崎商議會頭を推し會則原案を諮つたところ滿場異議なく原案通り可決した、ついで石崎議長の指名に依り理事及監事を推薦したのち會長に韓市長、副會長に史特別市商務總會長及植田總務處長を推戴することゝし、顧問は追つて理事會において本人の内意を得たのち更めて推戴することゝなつた、かくて國都新京の觀光事業の第一歩に乘出さんとする同協會は滿場賛成裡に芽出度く成立、それより祝賀宴を張つた、理事及監事の顔觸れは左の通りである

△理事 ツーリストビユーロー田口文雄、滿洲事情案内所宗像良男、旅館組合長五味武太郎、國都建設局藤森圓卿、新京交通會社永井麗造、大興公司米良晃、商工會議所尾藤正義、市商會周華南、大阪商船坂井照、地方事務所吉村高、市公署平野博、關口英太郎

△監事 市公署尾信次、地方事務所宮本傳吉

女中さんの六感に 惡運遂に盡く

〝〟〝〟内鮮滿台を股に荒し廻つた李〝〟〝〟

夕刊既報、二十五日午後一時半ごろ新京室町附近で映畫もどきの大格闘の上新京署谷本刑事に逮捕された大窃盗犯人藤井文一こと李相春（二二）が御用となるまでの經緯は次の通りである

◇……◇

犯人李は昨年九月上海で三千餘圓を窃取した足で大連、奉天でも同一手段で一等旅館に宿泊し巧みに旅客から二百圓五百圓と拔きとり、枕さがしを働き

昨年

十一月新京梅ヶ枝町三丁目蔦屋旅館に吉田と僞名して投宿、隣室の旅客から四百四十圓を窃取しその後、吉林、ハルビン、京城、台灣、岡山、大阪京都、東京と泥棒も飛行機で飛び廻りいづれも一等特等旅館に投宿し、東京では山王ホテルに泊り現金百四五十圓と金側懷中時計とを盜み、又滿洲に舞戻つて去る十二日吉林名古屋ホテルに一泊したのが運のつき、同ホテルの女中君代さん（一九）は昨年十一月李が蔦屋旅館に泊つて四百十圓とつた當時のかゝり

女中

でよく人相を覺へてゐた爲め君代さんの第六感が働き、李が新京へ立つとすぐ吉林から新京ホテルと新京署へ電話で連絡をとつた、それ以來谷本、岩田兩刑事の不眠不休新京の旅館は片端から檢索してゐたが李は巧みに刑事の目を晦まし警戒を尻目に新都旅館で百十圓、梅屋で二十五圓を窃取した外、新京ホテル、國華ホテル、西村旅館、滿蒙旅館では何れも無錢宿泊し廿日からの足どりは全然判らなかつたが谷本刑事が永樂町一丁目某獸醫の知人であることを聽込み二十五日午後一時ごろ同家に踏込み

晝寢

してゐるところを押へ本署へ連行を求むると〝自分は何も怪しい者でない、逃げかくれしないが拘引狀もなく引るとは何事か〟と言ひ張るところを漸くだまして永樂町から室町へ出た時、矢庭に谷本刑事に手向つて逃走を企てたので群かり最後の手段の拳銃を三發威嚇發砲し市民の應援を求めて逮捕した、なほ斷念した李は取調官の前で昨年夏以來の日滿支各地における犯行をすら〳〵自供し最後に牡丹江で友人某から預つてゐるブローニング小型拳銃一挺及び實砲五發を永樂町の

隱家

に隱匿さる旨自述し拳銃及び實砲五發は押收された（寫眞は犯人李相春）

飛田主任語る

一ヶ年間日滿各警察署員を惱ました窃盜犯人を捕へた殊勳の谷本、岩田刑事には猪苗代署長から直ちに金一封の賞與があつたが飛田司法主任は語る

隨分苦勞したよ、全國に亘つて被害が一萬五六千にはのぼるだらう、刑事たちの骨折りもあるが吉林名古屋ホテルの女中君代さんが第六感を働かし親切にも電話で連絡をとつて呉れたのがまづ逮捕の端緒であつた

新京初等學校父兄聯合會 結成準備進捗

きのふ起草委員會開催さる

新京中等學校における入學難緩和のため各初等學校父兄會を打つて一丸とし、本社に對しこれが實現を圖らんとする運動體新京初等學校聯合父兄會結成に關する起草委員會は二十五日午後三時から新京室町小學校において各初等校父兄會代表者二名宛十五名並びに各校長出席のもとに開會、室町校父兄會長栗原重康氏の原案を中心に種々凝議が重ねられた結果次の如く會の組織目的、役員、會議の構成、經費等の會内容の決定を見たがこの起草案は直ちに室町小學校より各校父兄會に通達され承認を得てこゝに正式に聯合父兄會の結成を見るもので成立と同時に各關係當局に對し商業校は勿論各中等學校の充實、學級增加要望の陳情運動に移ることゝなつてゐる

△組織＝本會は在新京初等學校父兄會を以て組織す本會は新京初等學校聯合父兄會と稱す

△目的＝本會は初等學校父兄會の趣旨を遵守し各父兄會間の親密なる連絡を保ち兒童教育に關する諸問題の善處を計るを以て目的とす

△役員＝本會に總代一名幹事若干名を置く、總代は各父兄會長の輪番とし本會を代表し會議の司會者となり各父兄會の連絡に當る、幹事は各父兄會より一名宛選任し總代と協力本會事務の圓滑を計る、役員の任期は一ヶ年とす

△會議の構成＝本會の會議は各父兄會正副會長幹事をもつて構成し總代に於て必要と認むるとき招集する外各父兄會長の要求あるとき總代之を招集す

△經費＝本會の經費は各校父兄會の負擔とし本會役員協議の上適宜割當つ（會計事務は輪番校之に當る）

なほ當日の聯合父兄會組織起草委員は次の通りである

（室町校）栗原重康、吉田廣盛（西廣場校）高橋仁一、塚本良嗣（白菊校）石橋米一、井本幸一（八島校）籠谷保、黒田實（櫻木校）瀬田勇、岡田益吉（三笠校）加藤德善、安田佳藏（普通學校）李鴻周、鄭（公學校）孫化南

新京の名所を語る座談會 ⑨

これは不可思議― 紅卍字の靈力

觀光客の道案内遊覽バス

大原座長 大同大街（豪政部前）の紅卍字會はどうですあそこは事務を取る所ですか

孫化南氏 禪をくむところです

奥村氏 行事も行つてゐます靈の力に依り予言も現れると言つたやうな行事も行はれてゐます

關口氏 いつでもはいれますか

孫氏 いつでもはいれます

奥村氏 「ぷうじ」の事は孫さんがよく御存知ですから話して頂きませう

孫氏 まづ神像の前に禮拜して盤をあげ一尺餘りの木の兩側を二人して持ち文字を解しない者でも小さな木を以て、まねをすれば無意識のうちに立派な文字となつて現れるので實に不思議なものです

五味氏 一時間に五千字も書くものがあります、私もその信者の一人です

座長 永井さん、遊覽コースの説明を一つ願ひたいものですが

永井氏 それでは簡單に申上げませう、私の方（交通會社）としては大體のコースを決めたに止まりますがまづ新京驛を出發して新京神社—忠靈塔—寛城子—國務院—宮內府—淸眞寺—露天市場—關帝廟—南嶺—賽馬場—國都建設局、かういつたコースです

座長 所要時間はどの位かゝりますか

永井氏 四時間かゝります、今のところ午前九時から午後一時までの豫定で、こゝは九月一日から實施することになつてゐます

四戸氏 それは誠に結構ですね、料金は幾ら位でせう？

永井氏 本年はともかく大人一圓五十錢、子供は半額のつもりです、何分今のところ乘客がどの程度にあるか見當がつきませんが觀光協會の御援助によつて乘客があらうがなからうが一日一は必ず運轉しやうといふのです、

四戸氏 一台にどれ位乘れませうか

永井氏 定員は二十人となつてゐます

鯉沼氏 附屬地側として四戸さん始め先輩の方々が澤山居られいろ〳〵お話も出ましたが、附屬品名所としては創業館位のもので、他にはあまりありませんから、結局國都の名所としては新市街方面から選ぶことになりませう

瀧氏 私どもの來た當時はたいして大きな建物もなく今の加藤洋行の建物を外人にあれは何かと聞かれた位で、他には滿鐵病院の位のもので、それも今の第二病棟だけでした、滿鐵貯炭場の右の鐵道のクロスの邊りから寛城子へ出る邊り一五〇萬坪を買收にかゝりその時三井物産等が起つて猛運動をやつたものです、當時後藤新平さんが來てこんな小つぽけなものはどうなるかといはれたが、今から考へるとたゞの大風呂敷じやない、後藤さんは實にえらかつたとつく〴〵感心しますよ

〔寫眞〕＝上から新京神社と紅卍字總會

日時 八月十二日午後四時

會場 大和ホテル會議室

出席者（順序不同）

地方事務所鯉沼副所長、國都建設局藤森庶務科長、市公署關口調查科員、商工會議所尾藤理事、奥村滿洲事情案內所長、長谷川放送局長、大原地方委員會議長、矢澤中學校長、稻川新京驛長、大興公司米良氏、田口ビューロー主任、頭道溝商務總會孫化南氏、交通會社永井支配人、松本、中馬兩課長（一般民間側）四戸友太郎氏、瀧竹三郎氏、五味武太郎氏（本社側）細川取材部長、河楊、井上兩社員

妖魔往來

（近日上映）（上演）　桃川燕二演　内山錠太郎畫

二四

「これは何處か分らねえ山の上へ持つて行つて埋めて了ふ、他聞へはお熊は栃木の觀音が病氣だ其方へ當分手傳ひにやつたと云つて置きやア夫れで濟む、大きに是は厄介拂ひが出來た」

何處まで恐ろしい奴か分りません、死骸を座敷の隅の方へ押しやつて

「お蔭で酔も醒めた。是から飲み直さなくちや寝る時が悪い、サア來な」

「立てません」

「弱い女だな、それ乃公の腕に捉まりねえ何をガタ／＼慄へて居るのだ」

漸くの事で二階へ連れ上げた、是れから燗を付けてガブリ／＼無言の儘で酒を飲んだ、幾ら兇悪無慙の京助でも永年連添つた女房を縊殺したのだから餘り好い心持ちもしないと見えて、口で云ふ程でもなく顔色は青褪め、酒は飲んでも／＼更に酔ひません、お熊は素より慄えて居るばかり、夜の明けるのを待つて居ると、其内に東が白々と白んで來た、表の戸をドン／＼ドン／＼

「京助のお熊さんの所は此方でございますか、京助さんはお戻りでしたか、上河原の田原屋から來ましたが御内儀さんは來て居ませんか」

「あゝ、あれは熊藏の野郎だ、早く開けてやつて下さい」

と思つてゐるとドン／＼／＼

「一寸お明け下さい、上河原から」

と頻りに叩いて居ります。

話頭一轉、宇都宮八郎は願興寺の縣堂の中へ潜り込んでお志津の誘拐される様子を悉く見聞きいたしました、もう充分に胸一杯で留めされ山駕籠に乗せられ持つて往かれるその有様がすつかり分つたから、途中に於て奪ひ取り、お志津を我手に入れるのは愈々今日明日に迫つたと大きに喜び駕籠の後を見え隠れに跟つてどん／＼やつて參る、蛇の鳥吉、鰹若の大三郎、小穴の熊吉の三人は始めは夫れと氣が附きません一人は駕籠に附き、疲るれば代り、代りて又擔ぐ、息も切れ／＼で其夜の中に八里も飛んだ、そろ／＼夜の明けまする時分四邊が薄ぼんやりと見えて來た。

「何うも疲れたな」

「兄弟徹夜飛んで堪らねえや、最う夜が明け掛つて來た一休み休まうぢやねえか、晩何うだ」

「普通遊び附けて居るからから云ふ時にや御難だ、最う十里も來たやうな氣がする、駕籠を擔いで飲まず食はずぢや堪らねえよ」

「あゝ此森の中で一休み休まう乃公が家を出る時飯が減つちやならねえと握飯を拵へて來た、鰹若や熊は、其用意があるめえ」

「ヤア兄弟御々抜りがねえなア乃公ア五里と七里と踏出しちや茶屋小屋へ休んでも食ふ物があると思つたから用意をして來なんだ」

「乃公も其通りだ」

「だから困る、持つて行く者が物ぢやねえか、おもてむきに茶屋に休んで居て静かに駕籠の中を目られて見や化の皮が直ぐ剥げちまふ、茶屋などに悠々休んで居られるか」

「成程是りや一本參つたな、だが空つ腹で江戸迄飛べるものぢやアねえ、何とかしなくちや最う此處でへタ張つて了ふ」

「斯うしやうぢやねえか、三人で擔ぐのだから一人は手空がある手明の者から小茶屋で茶漬でも掻込み然うして後を追ふとでも云ふ事にしたら何うだ」

「マア今日の晝過ぎ頃からそんな事にでもするかな、乃公は此を和かして餘分に持つて來た、手前達にもお裾分けをしやう」